

平成 28 (2016) 年度「吹田市幼保小中一貫教育」推進事業

古江台中学校区幼保小中一貫教育研究報告集



平成 29 (2017) 年 3 月

古 江 台 幼 稚 園

北 千 里 保 育 園

古 江 台 小 学 校

津 雲 台 小 学 校

古 江 台 中 学 校

目次

■ 古中ブロック校園長挨拶	1
■ 年間の活動内容	3
■ 幼小中連携通信「JOINT」N0.32、33、34	4
■ 古中ブロック推進委員会報告「ジョイント+++プラス」	10
■ 連携部会(7/26夏季合同研修分科会)報告	20
■ 古中ブロック公開授業指導案	25
■ 事務連携部会	42
■ 「言語力育成」モデル	43
■ 国語力向上「古中ブロック」スタンダード、「議論のルール」	46
■ 生徒指導連携部会、ABC運動、授業規律の教師心構え9ヶ条	47
■ 古中ブロック 100冊の本①②	48

『心を動かす体験を』

古江台幼稚園 園長 堂野 綾子

古江台小学校内に移転してから、早や一年が経ちました。主に年長児が1年生、5年生と交流をさせて頂いています。最初はハードルを低く、一緒に好きな遊びをしたり、お芋を食べたりと、教師側はできるだけお互いの距離感が近く感じられるように、場所や環境を設定してきました。顔見知りが増えてきたら、グループの中に入れてもらって一緒に遊ぶ、給食を食べる、などより親近感もてるような交流を行っています。子ども達に感想を聞くと『一緒に遊べて楽しかった。もっと作りたかった』『本を読んでもらって嬉しかった』『静かに勉強しててびっくりした』『抱っこしてもらって嬉しかった』などと、自分の気持ちを言葉で話すことができます。そして、よほど楽しかったのでしょう。5年生と一緒に遊んだように、新聞を丸めて色々なものを作っています。

幼稚園では、心で感じたことを表現することを大切にしています。時には言葉で、時には歌って、時には作って、時には体で表現して…

それには心を動かす体験が必要です。また、それを伝えたい人（友達や教師）が必要です。これは子どもの遊びや生活の中でこそ育まれていきます。小学生と交流をすることで、幼稚園児だけではできない遊びをし、さまざまな感情や思いを受け取り、心豊かにしていることを感じます。そして、この古中ブロックでの『言語力の育成』の底辺を担っていることを痛感します。

今の好条件を活かして、小学校へのスモールステップを、一步一步歩んでいきたいと思っています。

さらなる「言語力の育成」に向けて

古江台小学校 校長 赤繁 信和

この2月に文科省より次期学習指導要領の改定案が発表されました。グローバル化に対応し、外国語活動を3、4年に前倒して5、6年では教科化されます。また全教科で「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善が図られます。

本校では昨年度から教育課程特例校の指定を受けて、1年生から6年生の全学年で外国語活動の取組みを進めてきました。各学年で研究授業を実施し、研究会では授業の振り返りを重ね、次の指導に結びつくような体制づくりに努めました。授業づくりでは今年度も関西大学の院生の方々にサポート頂きました。引き続き児童にとってわかりやすく質の高い授業を目指していきます。また「主体的・対話的」な学びには「言語力の育成」が欠かせません。幼小中の段階に応じた「言葉の増やし方」「使い方」「言葉を使った思考の深め方」を、授業で実践し検証していくことで「深い学び」に繋げていきたいと思えます。

（仮称）北千里・古江台認定こども園の整備計画により、昨年度途中より古江台幼稚園が本校敷地内の仮園舎で学んでいます。二年目となる今年度も多くの学年と幼小交流が出来ました。次年度が最終年度となりますが、園児たちの「学び」や「育ち」がスムーズに小学校に移行できるように尽力していきます。

幼保小中連携の充実

津雲台小学校 校長 有岡 雅裕

古江台中学校ブロックでは、平成21年度から「言語力の育成」をテーマに取り組みを進め、今年で8年目となりました。子どもたちの発達段階に応じた「言葉の増やし方」や「言葉の使い方」、「言葉での思考の深め方」を視点にした古江台中学校独自のカリキュラムを作成し、現在も加筆修正を加えて、より具体的に、そしてより精選したものへと改訂作業を繰り返しています。

津雲台小学校では、平成27年度から教育課程特例校として「外国語活動」を全学年で取り組み、自然に英語でコミュニケーションできる体験活動の充実を図っていますが、古中ブロックのカリキュラムをベースに、言語力育成の視点を意識しながら授業の展開を考えています。

今後は、教科・領域別の一貫教育カリキュラム作成に向けて取り組みを進めていく予定です。

また、子どもたちに読んでほしい「古中ブロック100冊の本」を選定し、読書にも取り組んでいます。読書好きの児童が多い本校では、図書の間や昼休みなど、静かな環境の中で読書を楽しむ子どもたちの姿が見受けられます。読書活動支援者と共に、子どもたちの読書活動をさらに支援していきます。

今後も、古江台中学校ブロックの特色ある幼保小中連携を発展させ、子どもたちのさらなる成長につながるよう取り組みを進めていきたいと考えています。

統一した指導のもと、たくましく成長する子どもたち！

古江台中学校 校長 藤田 悟己

本中学校ブロックは、「幼保小中15年で育む言語力の育成」をテーマに取り組みをすすめています。推進委員のメンバーが毎月集まり協議し、研究授業・研究協議や夏季・冬季合同研修、そして生徒指導交流などブロックの先生方の熱意と創意工夫により、1年間取り組みをすすめることができました。また、小学校6年生が中学校プールでの水泳練習、中学校クラブ活動体験や小学校へ中学校教職員が出向いての給食交流などにおいて、児童・生徒・教職員交流も深めることができました。

特に、幼保小中の教職員が一緒になって、講師を招いての研修や研究授業・研究協議を計画的に取り組むことができています。そこでは、言語活動の充実がさらに各教科等の目標を達成させ、確かな学力の育成に繋がるものであるという共通理解のもと取り組みをすすめられていることが素晴らしいです。

ブロックとして「ABC運動」を指導し、「授業規律の教師心構え9ヶ条」を教師が大切にしなければならぬもの・大切にしていきたいこととして推進しています。この共通認識・指導が子どもたちの人間的な成長につながることを願い、ブロックとして頑張りたいと思います。

古江台中学校ブロック 年間の活動内容

推進委員会

第 1 回	4月25日 (月)	第 6 回	10月27日 (木)
第 2 回	5月24日 (火)	第 7 回	11月22日 (火)
第 3 回	6月21日 (火)	第 8 回	12月12日 (月)
第 4 回	7月14日 (木)	第 9 回	1月13日 (金)
第 5 回	9月16日 (金)	第10回	2月13日 (月)

事務連携部会

推進委員会前に開催

児童・生徒指導連携部会

6月22日 (水) 古江台小学校・津雲台小学校・古江台中学校
3月23日 (木) 古江台小学校・津雲台小学校・古江台中学校

夏季合同研修会

7月26日 (火) 古江台小学校
分科会 「各教科・事務」連携部会

テーマ・討議内容

- ・各教科、領域で授業で工夫しているところや課題となるところ
- ・子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状
- ・各教科、領域ごとの情報交換

(児童生徒の現状と課題、授業、テスト、評価・通知票など)

- ①国語、②算数・数学、③社会、④理科、⑤英語、⑥体育、
⑦図工美術・音楽・技術、⑧事務、⑨支援、⑩養護・栄養教諭

※事務は「職務における連携」、養護・栄養教諭は「保健・衛生指導、食育」
で校種間のつながりや情報交換

全体会 講演 「島本町における小中一貫教育の推進」

島本町 教育委員会 教育推進課参事兼指導主事 畑 克延 様

冬季合同研修会

1月20日 (金) 古江台中学校

講演 「不審者対応について～附属池田小事件に学ぶ～」

大阪教育大学附属池田小学校 校長 佐々木 靖 様

公開授業

【津雲台小】 6月24日 (金) 6時限目 14時30分～15時15分
外国語 (英語) 「I like apples.好きなものを伝えよう」
5年2組 河本 美稀 教諭
指導助言 高槻市立大冠小学校 教諭 引山 大士 様

【古江台中】 1月15日 (火) 6時限目 14時35分～15時25分
技術家庭 「材料と加工法～じょうぶにする方法を知ろう～」
1年2組 梶本 剛史 教諭
社会「現代の民主政治と社会～模擬裁判をやってみよう～」
3年3組 阿部 千春 教諭

【古江台小】 1月27日 (金) 6時限目 14時30分～15時15分
道徳「ブランコ乗りとピエロ」
6年1組 柚田 真伸 教諭
指導助言 立命館大学 非常勤講師 牧崎 幸夫 様

小小交流・クラブ体験等小中交流会、その他

10月21日 (金) 古江台中学校

15時10分～15時30分 小、小交流

15時30分～16時00分 小学6年生 中学校クラブ見学・体験

中学校栄養教諭食育指導、古中プールでの臨海学習遠泳練習 など

古江台中学校ブロック 夏季合同研修会

7月26日(火) 13:30~17:00 古江台小学校にて、古江台中学校ブロック夏季合同研修会を開催しました。3校2園の教職員70名が参加し、講演会・分科会を通して、ともに学び合いました。

【講演会】 「島本町における小中一貫教育の推進」

講師 島本町教育委員会 教育推進課参事兼指導主事 畑 克延 様

島本町における教育推進事業等の経過や小中一貫教育の具体的な取組として、授業を軸にした取組、児童・生徒交流などについて、お話しいただきました。

平成18・19年度に内閣府「英語特区」小中連携教育実践事業で国の研究指定を受けたことを始めに、平成20年度より島本町小中一貫教育推進協議会を設置して本格的に小中一貫教育の取組が始まったことや、校区編成の関係から1中学校ブロック単位というのではなく、中学校2校・小学校4校の全町で取組が進められたことをお話しされました。

授業を軸にした取組として、相互授業参観、各校研修会の相互乗り入れ、校種を超えて授業をする「いきいきスクール」、小学校児童が中学校で授業を受ける「乗り込みスクール」「つなぎングスクール」等、取組の変遷をそのねらいやどのような効果・影響があったかを含めて説明されました。

また、代表授業を全員で授業研究する小中合同授業研究会や組織的に提案授業を行う教科プロジェクト、教科プロジェクトと町教研を統一し教科毎に9年間を見通したカリキュラムを作成する等、小中一貫教育推進の裾野を広げ、教育内容、指導の連続性を追求されていることがわかりました。

児童・生徒交流では、児童の不安感解消と期待感の高揚をねらい、小学校児童が中学校の授業を見学したり、夏休みを利用し中学校のクラブを体験する活動をしていることや、保育園・幼稚園の年長児が小学校を訪問し、授業を受けたり、学校体験したりする交流を行っていることも紹介されました。

教育委員会組織を改編し、学校教育自己診断で小中一貫教育についてのアンケートをとり、振り返ることで、児童、生徒、保護者、教職員が受け止められるようにしていることなど、小中一貫教育を推進するために大切にしていることをアンケート結果を踏まえて教えていただきました。

島本町の今後の展開として、中学生に英検3級以上の力を身につけさせることを目標に英語教育推進事業を軸に進めることを紹介されました。

最後に『小中一貫教育はその視点を持って子どもたちの成長を見ていくことなので、形にとらわれる必要はない』『いろいろな勉強の機会を自らつかんでほしい』の言葉で締められました。

多くの資料、アンケート結果等を示しながらお話しいただきました。教職員の“負担感”も考慮しながら、PDCAサイクルにより“やりがい”のある取組、町全体の取組へと展開されたことがよくわかりました。



〈古中ブロック公開研究授業②〉 11月15日(火) 6限 (14:35~15:25)

古江台中学校 3年3組 社会科 「模擬選挙を体験しよう」

授業者 阿部 千春 教諭

公職選挙法が改正され、平成28年6月19日より選挙権を得る年齢が18歳へと引き下げられました。「選挙に行く生徒を育てる」ということは、よりよい主権者の育成という観点からみても当然のことです。しかし、現状は、投票率の低下が日本の選挙の課題となっており、とりわけ若年層の投票率はきわめて低いです。3年後には選挙権を得ることになる中学3年生に、選挙というものは、政治に対して意思を表明する大事な方法であることに気づかせることを目的として、模擬選挙を行いました。

はじめに、グループ学習で立候補者の立場から具体的な政策を考えさせました。次に、各グループの代表者が立候補者として演説を行い、他の生徒は有権者として食い入るように演説を聴いていました。最後に、現在の日本の年齢別人口構成と年代別の投票率のグラフを読みとって意見交流する予定でしたが、時間がほとんど取れなかったのが残念でした。

しかし、全体を通して、すべての生徒が話し合いに加わり、意欲的に活動できていました。



〈研究協議〉

【技術家庭科】

●良かった点

- ・生徒が熱心に考え意見を出し、活発な話し合いができていました。
- ・テンポが良く、生徒が興味・関心を持つ授業になっていました。
- ・プロジェクターで写真を見せたり、模型を使って実験をしたりして視覚的理解がしやすい工夫がされていて良かったです。

●課題

- ・質問を考える時間が短く、十分に自分の意見を言えない生徒がいました。
- ・各グループから出た意見を生徒が発表する形式のほうが良かったです。

●改善策

- ・1時間の授業の中での質問の数を減らし、はじめにグループで話し合いをする時のルール、発表をする時のルールを決めておくことが必要ではないでしょうか。

【社会科】

●良かった点

- ・社会科は講義形式になりがちですが、生徒が主体となり、興味・関心をもてる内容でした。
- ・アメリカ合衆国で大統領選挙がおこなわれたばかりであり、授業のタイミングがすごく良かったです。
- ・支援学級在籍の生徒にも、活躍の場が大いに設けられていました。
- ・生徒も先生も、楽しそうにしていました。

●課題

- ・難しい内容ということもあり、はじめの説明が長くなり、まとめの時間がなくなってしまっていました。
- ・1時間の中で行うには、内容が詰め込みすぎではないでしょうか。

●改善策

- ・事前に政策を考えるとところまで済ませておき、今回は演説から始めてみてはどうでしょうか。
- ・はじめからグループ活動をさせず、個人で考える時間を作ってはどうでしょうか。

●質問

- ・演説を聴くときに年代別に生徒を振り分けた意図は？
→若年層の人口の少なさと投票率があまりにも低すぎることに気づかせたかったためです。
- ・公約を統一しなかった意図は？
→統一して比べながら聞かせるという方法もたしかに考えてはいましたが、今回は幅広い視野で考えさせたかったので、あえて統一しませんでした。

【まとめ】

- ・教科に応じた言語力の育成を、今後も深めていきたいです。
- ・目標を具体化し、児童・生徒の思考を深める手立てを考えたいです。



1月20日(金) 15:30~17:00 古江台中学校

古江台中学校ブロック冬季合同研修会 開催

3校2園の教職員 66名 参加

講演会 「不審者対応について ～附属池田小事件に学ぶ～」

講師 大阪教育大学附属池田小学校 校長 佐々木 靖 様

2001年6月8日に大阪教育大学附属池田小学校で起きた痛ましい事件の体験を通して、不審者対応についてのご講演をしていただきました。

前半部分では、事件の概要・経過を当時の様子が思い浮かべられるほど詳細にお話してくださいました。現場にいた先生だからこそ見えた景色、感情、現実を教えて頂き、深く考えさせられました。

講師先生からの話の中で、「不審者は人を傷つけることに躊躇^{ちゆうちよ}はない、対応する教師は人を傷つけることに躊躇^{ためら}いがある。この関係があって教師が不審者を取り押さえられますか？逃げてください。」この言葉を聞いて、不審者対応の難しさを強く感じました。



後半部分では、池田小学校で年間5回行われている不審者対応訓練の様子を撮ったビデオを見せていただきました。教職員全員が参加し、実際に不審者が侵入してきたことを想定して行い、訓練後の反省会では、真剣な意見交換・交流がなされていました。目の前の状況だけを見るのではなく、学校全体がどうなっているのかを把握しようとする姿勢が必要ということも教えていただきました。



この他にも、大阪教育大学と連携して、登下校メール配信システムを実施されており、児童の登下校の実態が保護者にメール配信されるそうです。

各校・園それぞれで不審者対応訓練はされてきたとは思いますが、今回の研修で多くのことを学ばせていただきました。その学びを活かして、もう一度不審者対応訓練のあり方を各校・園で考えて、取り組んでいただければと思います。



1月27日(金) 14:30~17:00 古江台小学校

古江台中学校ブロック 道徳研究授業・研究会

3校2園の教職員 61名 参加

授業者 柚田 真伸 教諭 道徳「ブランコ乗りとピエロ」
講師 立命館大学 非常勤講師 牧崎 幸夫 様

6年1組で道徳の研究授業が行われ、たくさんの先生方が参観されました。6年生は思春期に差し掛かり、いろいろな心の課題にぶつかる年頃でもあります。今回は、道徳の内容項目2-(4)寛容・謙虚について学習しました。授業者の柚田先生は、子どもたちに「素直な気持ちで向き合うこと」「相手の立場に立って考えること」「ちがう意見を受け止めること」の3つの考え方を身につけさせたいという思いから、「ブランコ乗りとピエロ」という教材を



使って授業を行いました。始めはサムの手先の行動に腹を立てていたピエロも、サムの一生懸命な様子を見て、考え方をえます。そこにはピエロの素直さや、相手の立場になって考えてみる姿勢、自分の考えを主張するばかりではいけないという思いがあります。今回の授業では、場面ごとに物語を読み、ピエロの心の変化を読むことで、「意見が対立したときにはどのように考えることが大切か」について子どもたちに考えさせました。授業の初めと終わりには、子どもたち自身の過去の体験を振り返らせることで、より主題にせまって考えさせる工夫が見られました。



その後の研究会では、参加された先生方が6つのグループに分かれ、授業についての討議を行いました。短い時間でしたが、どのグループも良かった点や改善点、講師の先生に質問したいことなどについて話し合うことができました。

講師の先生からは、主に道徳の授業の在り方についてお話していただきました。道徳は「心を育てる」ものであり、そこから表れる言葉や行動は、生徒指導や特別活動において

育てるものだとのことでした。2018年度小学校からの道徳教科化にあたっては、授業で

「自分と照らし合わせて考える」「いろんな角度からの意見を考える」「他者の考えを聞き、自分を見つめ直す」といった活動が良いということを教えていただきました。他にも45分間の授業の使い方など、盛りだくさんの内容を話していただき、講義の時間はあっという間に感じられました。今回学んだことをブロックで共有し、道徳の授業で実践していくことが大切だと感じました。



第1回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2016年4月25日古中にて

出席者 古中 藤田校長 内田教頭 阿部 廣瀬
 (敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
 津雲小 有岡校長 濱口 毛利 大野
 古幼 栗山園長代理

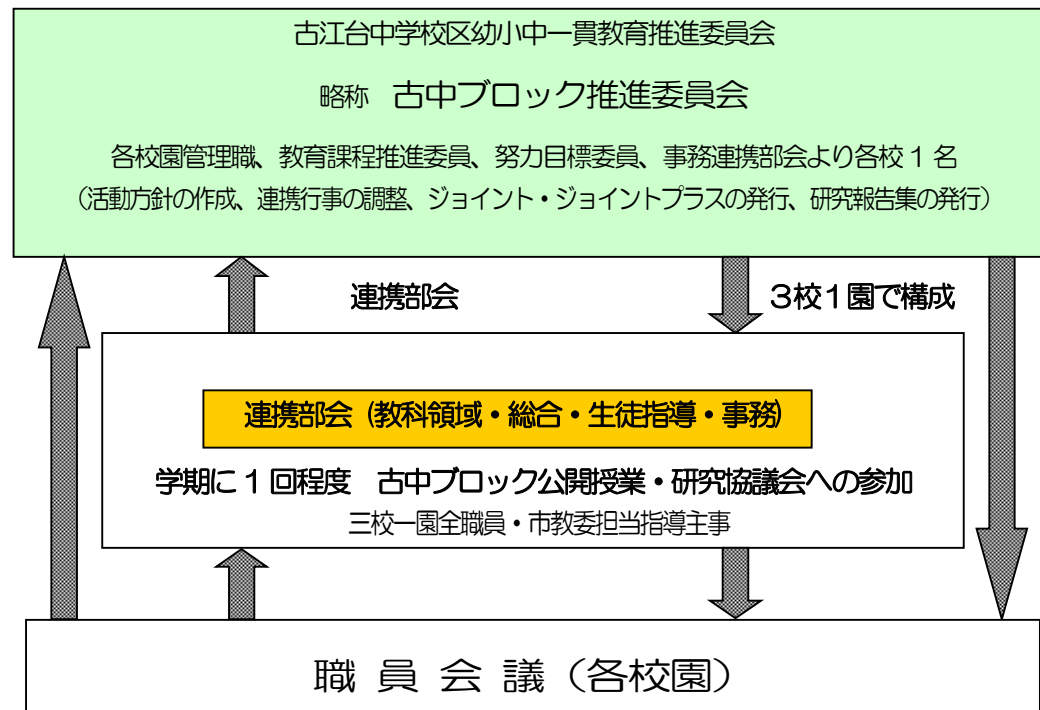
話し合われたこと

1. 本年度のテーマ 「言語力の育成」
2. 本年度の定例会の開催日について
 古中ブロック推進委員会
 ①4/25 (月) ②5/24 (火) ③6/21 (火) ④7/14 (木)
 ⑤9/16 (金) ⑥10/27 (木) ⑦11/22 (火) ⑧12/12 (月)
 ⑨1/13 (金) ⑩2/13 (月)
3. 本年度の取り組みについて
 ◇ブロック公開授業
 ・中学校で毎年1回、小学校1回のブロック公開授業を行います。
 ・小学校は、津雲小と古小が隔年で回します。
 ・道徳はブロック内での持ち回りとなります。
 ・本年度は1学期 6月24日(金) 14時20分～津雲小 外国語で調整済みとなり、古中(教科:体育、技術家庭)と古小(道徳)は次回日程調整を行います。
 ・幼稚園の園内研修が6月3日(金)と6月28日(火)にあります。
 ◇夏季合同研修
 日時 平成28年7月26日(火) 14時～
 14時～15時10分 分科会
 15時20分～16時50分 講演会
 会場 古江台小学校 多目的教室他
 講師 島本町教育委員会 教育推進課参事兼指導主事 畑 克延 様
 テーマ 「島本町における小中一貫教育(仮題)」
 ◇冬季合同研修
 夏季合同研修終了後に反省用紙を配布し、その用紙の中で講師先生の候補をブロックの先生方に書いてもらい、検討を行う。
4. その他
 【古江台中学校ブロック幼小中一貫教育組織図について】
 昨年度同様の組織図で決定しました。(右頁参照)

平成28年(2016)年度

古江台中学校ブロック (古江台中学校 古江台小学校 津雲台小学校 古江台幼稚園)

幼小中一貫教育組織図



【昨年度のブロック反省より】

・古中の体育祭へ両小学校が参加できるかどうか具体的に検討を行う。当日のプログラムを参考にし、児童も参加できる競技や種目を考えていく。古中にて調整を行う。

【古中より】

- ・栄養教諭が配置されており、ブロック内の児童への栄養指導、子どもの実態把握のため中学校の定期考査の時期に両小学校で管理職と栄養教諭が児童と一緒に給食を食べたい。
- ・授業のめあて(ねらいやゴールなど)をブロック全体で共有できる内容を考えたい。各校園内で検討し、次回以降の推進委員会で考えていく。

【ジョイントプラス、ジョイントの発行割り当てについて】

ジョイントプラス：1学期 古小、2学期 津雲小、3学期 古中
 ジョイント：1学期 津雲小、2学期 古中、3学期 古小
 ※「ジョイントプラス」については、事務連携で作成します。

次回推進委員会 日程 5月24日(火) 16時～ 古中

第2回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + フラス

2016年5月24日古中にて

出席者 古中 藤田校長 内田教頭 阿部
(敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
津雲小 有岡校長 濱口 毛利 大野

話し合われたこと

1. 本年度の公開授業について

<1学期> 津雲小 外国語(英語)

6月24日(金) 5時間目 14時30分～15時15分

・前回の推進委員会より、授業の開始時間を10分遅らせています。

→詳細は後日、事務連携にて案内を送信する。

<2学期> 古中 教科(体育・技術)

11月頃(予定) 日程および時間などの詳細は未定

<3学期> 古小 道徳

日程は未定

・公開授業後に各校園で実施するアンケートは共通の様式で行う。
事務連携で作成し、次回の推進委員会に持ってくる。

2. 夏季合同研修について

日時 平成28年7月26日(火) 14時～17時

(受付:13時30分～)

13時30分～14時00分 受付(職員玄関にて行う)

14時00分～15時10分 講演会

15時10分～15時20分 休憩・移動・分科会準備

15時20分～16時50分 分科会

16時50分～17時00分 後片付け

会場 古江台小学校

(講演会:多目的教室、分科会:各教室・多目的教室)

講師 島本町教育委員会 教育推進課参事兼指導主事 畑 克延 様

テーマ 「島本町における小中一貫教育」

- ・当日や当日までの役割分担は次回の推進委員会で決める。
- ・講師依頼や準備物などの確認は、古小より講師の方へ連絡しておく。
(準備物はプロジェクター、パソコンなど)
- ・合同研修の案内および当日のアンケート用紙は、事務連携で作成する。

3. 冬季合同研修について

日時 平成29年1月20日(金)

会場 古江台中学校

講師 夏季合同研修終了後に実施するアンケートにて、ブロックの教職員より研修のニーズや具体的な講師の方の候補を集約し、考えていく。

4. 小中交流について

【給食】

両小学校へ古中の管理職と栄養教諭が来校し、児童と一緒に給食を食べました。

古中には栄養教諭が配置されており、ブロック内の児童への栄養指導や子どもの実態把握のため今後も続けていきたい。

【体育祭】

・6月9日(木)に両小学校の6年生が古中の体育祭に参加する。

13時からのクラブ対抗リレーを見学し、両小6年と古中1年がつなひきを行う。

・当日の児童の座席場所は現在調整中で後日連絡する。

・古中の体育祭当日に向け、古小の玉入れの道具を借ります。

5. その他

【小中一貫教育推進事業実施計画書および吹田市学校教育の概況の原稿について】

- ・古中ブロック推進体制(組織図)に今年度より北千里保育園を加える。(保育園へ確認済み)
- また、次回以降の推進委員会へ北千里保育園より参加してもらうように連絡しておく。
- ・原稿は事務連携にて昨年度のデータをもとにたたき台を作成し、各校園へデータを送信する。内容について各校園で確認し、追加・訂正を行う。

【小中一貫教育推進事業予算について】

予算 6万円(報償費)

内訳:夏季合同研修 執行なし、冬季合同研修 2万円

古中 1万円、古小 1.5万円、津雲小 1.5万円

【古幼より】

園内研修(公開保育)が6月3日(金)、28日(火)13時～13時45分にあります。

後日、幼稚園より案内が各校へ送信されます。

【古中より】

- ・小学校の臨海直前(水曜日の午後などで)中学校のプールを使用する希望があれば、日程の調整を行います。ご連絡ください。
- ・オープンスクールを6月14日、15日で行います。詳細案内は各校園へ配付します。
なお、10月にも秋のオープンスクールを実施する予定です。

【津雲小より】

- ・6月8日にオープンスクールを実施する予定です。

次回推進委員会 日程 6月21日(火)16時～ 古中

第3回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2016年6月21日 古中にて

出席者 古中 藤田校長 阿部 廣瀬
 (敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
 津雲小 有岡校長 濱口 毛利 大野
 古幼 栗山園長代理
 北保 谷川園長代理

話し合われたこと

1. 本年度の公開授業について

<1学期> 津雲小 外国語(英語)

6月24日(金) 5時間目 14時30分～15時15分

・公開研究授業終了後にブロック共通の様式でアンケートを実施する。
 その際、冬季合同研修のニーズや具体的な講師の方の候補などを書いてもらう。

<2学期> 古中 教科(体育・技術)

11月頃(予定) 日程および時間などの詳細は未定

<3学期> 古小 4年 道徳 日程は未定

2. 夏季合同研修について

日時 平成28年7月26日(火) 14時～17時

(受付は職員玄関にて13時30分から)

会場 古江台小学校
 (多目的教室、1年教室)

講師 島本町教育委員会 教育推進課参事兼指導主事 畑 克延 様

テーマ 「島本町における小中一貫教育」

【分科会】

・教科・領域ごとの下記10のグループに分かれて討議する。

①国語 ②算数・数学 ③社会 ④理科 ⑤英語 ⑥体育

⑦図工美術・音楽・技術家庭科⑧事務 ⑨支援⑩養護・栄養教諭

・討議テーマ 下記の3点について話し合う。(昨年と同じ)

①授業で工夫しているところや課題となるところ

②子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状

③情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)

・事務は「職務における連携」、養護・栄養教諭は「保健・衛生指導、食育」の討議内容で領域の校種間のつながりや情報交換を行う。

13:30	14:00	15:10	15:20	16:50	17:00
準備・受付	講演会 「島本町における小中一貫教育」 島本町教育委員会 教育推進課参事兼指導主事 畑 克延 様 会場:多目的教室	移動・休憩	分科会①～⑩ 各教科・領域の校種間のつながり 情報交換 会場:多目的教室、1年教室		後片付け

【役割分担】

全体会会場準備

・シート敷き、講師用机・椅子並べ
 ・パソコン、プロジェクター、マイクなど

講師依頼・当日の内容確認

始めの挨拶・講師紹介

終わりの挨拶

総司会

写真・記録

受付・準備物・夏季研案内など

古小

推進委員メンバー

古小 赤繁校長

古小 赤繁校長

津雲小 有岡校長

古中 阿部

ジョイント作成校 津雲小

事務連携

- ・推進委員は、当日13時に集合する。
- ・参加者、司会、記録を決めて、名簿を事務なびメールで古小 沖家へ送信すること。締め切りは7月5日(火)とする。
- ・研修後のアンケートは統一した様式で集約を行う。
- ・当日は自動車の乗り入れは出来ないことや名札の着用を各校園で連絡しておく。

3. 冬季合同研修について

日時 平成29年1月20日(金)(予定)

場所 古江台中学校 集会室

講師 津雲小の公開研究授業終了後に実施するアンケートにより、ブロック教職員の研修のニーズや具体的な講師の方の候補を集約し、検討する。

4. その他

【古中の授業・クラブ見学および小小交流について】

10月21日(金)のオープンスクールにあわせて実施する。
 具体的な取り組みなどは次回以降の推進委員会で考えていく。

【古幼より】

公開保育が9月14日(水)13時～13時30分にあります。
 後日、幼稚園より案内が各校園へ送信します。

【古中より】

・臨海学習に向け、中学校のプールを両小学校が使用します。

津雲小:6月28日(火)、古小:7月5日(火)(両日とも午後)

・古中管理職と栄養教諭が参加し、給食交流を実施します。

古小:6月27日(月)、津雲小:6月29日(水)

次回推進委員会 日程 7月14日(木) 16時～ 古中

第4回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2016年7月14日 古中にて

出席者 古中 藤田校長 内田教頭 阿部 廣瀬
 (敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
 津雲小 有岡校長 濱口 毛利 大野
 古幼 栗山園長代理

話し合われたこと

1. 夏季合同研修について

日時 平成28年7月26日(火) 14時～17時
 会場 古江台小学校(多目的教室、1年教室)
 講師 島本町教育委員会 教育推進課参事兼指導主事 畑 克延 様

推進委員メンバーは13時に集合

13時00分～13時30分 会場準備
 13時30分～14時00分 受付(職員玄関にて行う)
 14時00分～15時10分 講演会
 15時10分～15時20分 休憩・移動・分科会準備
 15時20分～16時50分 分科会
 16時50分～17時00分 後片付け

【準備物】

	準備物	担当(役割分担)
共通	会議用机(講師用)	古小
	椅子【90脚】	古小
	マイク【2本】	推進委員メンバー
	ホワイトボード【1台】	推進委員メンバー
	ホワイトボードペン(黒、赤、青)【各1本】	推進委員メンバー
	掲示物(貼り紙、会場内での案内表示)	事務連携
受付	受付名簿	事務連携
	ペン	事務連携
	講演会資料【100部】	講師先生が印刷して持参
分科会	記録用紙・封筒印刷	事務連携
講演会	講師用飲み物	古小
	紙コップ	古小
	パソコン	推進委員メンバー
	プロジェクター	推進委員メンバー
	スクリーン	推進委員メンバー

※講師先生が使用されるパワーポイントのバージョンを確認しておく。

【役割分担】

・会場準備①シート敷き(7月22日もしくは25日) 古幼
 ②椅子並べ、講師用机(7月26日午前中) 古小
 ③パソコン・プロジェクター・スクリーン・マイクなど 推進委員メンバー
 ・講師依頼・当日の内容確認・接待 古小
 ・はじめの挨拶・講師紹介 古小 赤繁校長
 ・おわりの挨拶 津雲小 有岡校長
 ・総合司会 古中 阿部
 ・写真・記録 ジョイント作成校 津雲小
 ・受付・準備物・夏季研案内など 事務連携

・研修当日は、感想などをアンケート用紙に書いてもらう。アンケートの記入は後日の提出も含めて回収するようにする。後日、提出されたアンケート用紙は8月中に古中へ送付する。
 ・分科会記録は、各記録担当が8月中に分科会内容を記録(整理)する。各校の事務職員がその内容をデータ化し、津雲小へデータを送信する。
 ・研修案内は例年同様、指導室と教育センターにも送付する。

2. クラブ見学・小小連携について

10月21日(金)に両小学校とも校外での観劇行事と重なった。古中にて昼食をした後に小小交流・クラブ見学を行う。なお、昨年度実施した授業見学については時間の様子を見ながら可能であれば実施する方向で考えていく。

3. 冬季合同研修について

日時 平成29年1月20日(金)(予定)
 場所 古江台中学校 集会室

6月24日公開授業後のアンケートに意見が出ていた「学校安全」の重要性から大阪教育大学附属池田小学校の校長先生の講話や「アクティブ・ラーニングの考え方や手法」についてなどを候補として、調整・交渉に入る。

4. 公開授業について

<2学期> 古中 教科(検討中) 11月頃で検討中。
 <3学期> 古小 4年もしくは2年 道徳 日程は未定
 ※古幼にて9月14日(火)13時～13時30分に公開保育があります。

5. その他

【古中より】

11月もしくは12月にブロック合同の人権研修を考えています。
 NPO法人の川西 寿美子 様を講師の予定としています。

【津雲小より】

8月29日(月)に校内の人権研修にて神戸総合医療専門学校 言語聴覚士科 副教務主任の西田 和子 様の講演を実施します。ブロックの予算を執行予定のため後日案内を送信します。

次回推進委員会 日程 9月16日(金)16時～ 古中

ジョイント + + + プラス

2016年9月16日 古中にて

出席者 古中 藤田校長 内田教頭 廣瀬
 (敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
 津雲小 有岡校長 濱口 毛利 大野
 古幼 栗山園長代理

話し合われたこと

1. 夏季合同研修会 アンケート結果について

開催時期…参加しやすかった 開催時間…ちょうど良かった 会場…(クーラーもあり) 適当 講演…良かったが多数	}	が多数
具体的な取組を知ることができてわかりやすかった 小中一貫教育の意義がわかった 教師の多忙感に配慮しているのが良かった 島本町は学校数が少ないので一般化は厳しい 良くなかった		具体的ではなかった 分科会…良かったが多数 幼～小～中 普段はできないが、情報交換ができよかった テストなど具体物を用意した方が良かった 良くなかった ねらいが見えにくく、話しづらい。 集約数が少ない。学校によってもバラツキがある。 …当日のうちに、出してもらった方が良かった。 開催後は、アンケートについて呼びかけができていなかった。(津雲小) 分科会の時間が長かったという意見もあった。アンケートを書く時間をつくってはどうか。 アンケートは広く意見を聞き、それを元に運営を決めている。全体に関係するもの。 意義を再認識して取り組んだ方が良い。 →アンケートの意義を再認識し、できるだけ多く回収できるように集め方、声かけ等を工夫して行う。

2. 授業見学 および クラブ体験・見学について

日時	平成28(2016)年10月21日(金) 13:50～16:00
場所	古江台中学校
時程	13:50 古小・津雲小 古中到着(観劇後)
	13:55～14:20 昼食おべんとう(特別教室)
	14:30～14:50 小小連携(体育館)
	14:55 集合、開会(体育館)
	15:00～15:45 クラブ体験・見学
	15:50 集合、閉会
	16:00 古小・津雲小 古中出発(帰校)

※後日、古中より時程、体験するクラブの集約方法など詳細について古小・津雲小へ送る。
 10月初めには、古小・津雲小から参加人数等を返答する。
 ※時間によっては、授業見学も行う。当日の状況により変更あり。
 ※当日は、持ち物として体育館シューズ、体操服が必要。
 ※小小連携については、古小・津雲小6年担任同士で事前に打ち合わせをする。

3. 公開授業について

2学期 古江台中 社会、保健体育 or 技術家庭科	11月15日(火) 14:15 受付
	14:35～15:25 研究授業
3学期 古江台小 道徳	1月27日(金)

→詳細は、後日案内文にて通知。時間措置して参加体制を取る。
4. 入学説明会日程について

古江台中学校 … 2月2日(木)、6日(月)、7日(火)、8日(水)のいずれか。
 ※できるだけ早く決定し、通知する。
 ※保護者対象行事はいれない。
 【参考】古小・津雲小 … 2月20日(月) [吹田市全校統一日]
5. 冬季合同研修会について

日時	平成29(2017)年1月20日(金) 15:30～
場所	古江台中学校 集会室 (推進委員会後、開始時間の調整・変更 15:00→15:30)
講師	大阪教育大学附属池田小学校 校長 佐々木 靖 様
テーマ	(仮題)「不審者対応」

※次回以降に、時程、役割などを決める。
6. (1) 古中ブロック学習会

日時	平成28(2016)年11月2日(水) 16:00～17:00
場所	古江台中学校 図書室
講師	国立大学法人熊本大学 非常勤講師 川西 寿美子 様
テーマ	「パワーハラスメントについて」

※小中一貫教育推進事業報償費 1万円執行

(2) 古小校内研究授業

日時	平成28(2016)年10月14日(金) 14:15～17:00
内容	外国語活動 研究授業・研究協議
講師	関西大学 教授 池田 真生子 様

※小中一貫教育推進事業報償費 1万円執行

(3) 古小校内研究授業

日時	平成29(2017)年2月21日(火)
内容	外国語活動 研究授業・研究協議
講師	関西大学 教授 池田 真生子 様

※小中一貫教育推進事業報償費 5,000円執行
7. その他
 - (1) 古中秋のオープンスクールについて

平成28(2016)年10月20日(木) 21日(金)

→小学校6年保護者宛案内文を9月中に配付する。時間割等は後日配付される。
 - (2) JOINT No.3 データを送るので修正等をお願いします。

次回、推進委員会 10月27日(木) 16:00～ 古江台中

ジョイント + + + フラス

2016年10月27日 古中にて

出席者 古中 藤田校長 内田教頭 阿部 廣瀬
 (敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
 津雲小 有岡校長 濱口 毛利 大野
 古幼 栗山園長代理

話し合われたこと

1. 公開授業について

平成28(2016)年11月15日(火) 古江台中学校

14:15 ~ 受付〔渡り廊下〕

14:35 ~ 15:25 研究授業

社会 3年「現代の民主政治と社会～模擬裁判をやってみよう～」

授業者：阿部 千春 教諭 ※10年研と兼ねています。

技術家庭 1年「材料と加工法 ～じょうぶにする方法を知ろう～」

授業者：梶本 剛史 教諭

15:45 ~ 17:00 研究協議 司会 安藤 元昭 古中首席

テーマ「言語力育成をめざした授業づくり」

①挨拶 藤田 悟己 古中校長 (1分)

②授業者からコメント (7分×2教科)

③質疑応答 (15分)

④全体交流 (30分)

研究授業別に分かれて行う。

⑤まとめ (10分)

⑥挨拶 赤繁 信和 古小校長 (3分)

※①挨拶～③質疑応答、⑤まとめ～⑥挨拶 は全体で行う。

当日の詳細は後日、案内のデータを送信します。

2. 冬季合同研修会について

日時 平成29(2017)年1月20日(金) 15:30 ~

場所 古江台中学校 集会室

講師 大阪教育大学附属池田小学校 校長 佐々木 靖 様

テーマ 「不審者対応」(仮題)

※次回以降に、時程、役割などを決める。

3. 古中ブロック学習会

日時 平成28(2016)年11月2日(水) 16:00 ~ 17:00

場所 古江台中学校 図書室

講師 国立大学法人熊本大学 非常勤講師 川西 寿美子 様

テーマ 「パワーハラスメントについて」

※小中一貫教育推進事業報償費 1万円執行

4. 本年度公開授業

1学期 6月24日(金) 津雲台小 5年外国語活動

2学期 11月15日(火) 古江台中 3年社会、1年技術家庭

3学期 1月27日(金) 古江台小 6年道徳

5. その他

(1) 古中ブロック 小小交流・クラブ体験 アンケート集約

津雲小 開催時期……適切。

陸上大会、観劇等行事があり、ずらせないか。

全体の流れ……中身の流れとしては良かった。

行事の重なりで忙しく、授業見学がなく時間も短くて残念。

小・小連携……良かった。

児童から『古小の子と話せた』『やっていけそう』などの声があった。

クラブ体験……複数のクラブを見ることができたら良かった。

もう少し時間があれば、良かった。

児童から『クラブ決めの参考になった』『不安がなくなった』などの声があった。

その他……日程が厳しい。6年行事の把握と日程調整が難しい。

※古中、古小は次回、集約結果を持ち寄る。

(2) 「学校教育の概況」中学校ブロック原稿について

組織図……北千里保育園を追加、幼小中→幼保小中、3校1園→3校2園

取組……取組日等 変更

修正等について3校2園で情報共有した上で、10月31日までに提出します。

(3) 平成29年1月25日に開催される吹田市教育研究報告会に、古中ブロック事務連携で参加します。参加希望の締め切りの関係で事後報告となりました。

(4) 小中一貫教育推進事業報償費(年間予算6万円)について

現在3万円執行(執行予定)

8月29日…神戸総合医療専門学校言語聴覚士科 副教務主任 西田 和子 様 1万円

10月14日…関西大学 教授 池田 真生子 様 1万円

11月 2日…熊本大学 非常勤講師 川西 寿美子 様 1万円

2月21日…関西大学 教授 池田 真生子 様 5千円 → 1万円 変更

残額2万円あるので、講師招聘研修計画を検討してください。

(5) 学力・学習状況実態調査について

各校の分析結果を次回推進委員会(11月22日)に持ち寄り、交流する。

保護者への公表は、11月30日(水)とする。

(6) 言語力育成モデルの改訂について

各校で取組内容の追記について検討・まとめをして、1月推進委員会(1月13日)に持ち寄る。

(7) (以前の反省から) 来年度の夏季合同研修の内容(講師)、日程等を考え始めないといけない。

次回、推進委員会 11月22日(火) 16:00 ~ 古江台中

ジョイント + + + フラス

2016年11月22日 古中にて

出席者 古中 藤田校長 内田教頭 阿部 廣瀬
 (敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
 津雲小 有岡校長 濱口 毛利 大野
 古幼 栗山園長代理
 北保 谷川園長代理

話し合われたこと

1. 学力・学習状況調査 分析結果について

古小 国語A、国語B、算数A、算数B いずれも全国値を上回っている。
 課題 国語…「ひらがなで表記されたものをローマ字で書く」
 「目的や意図に応じてグラフや表を元に自分の考えを書く」
 算数…「割り算：商の大きさについて正しいものを選ぶ」
 「示された形をつくることのできることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く」

アンケート【教科・学習について】

「国語の勉強は好きだ」は、全国値を下回っている。
 「〈総合的な学習の時間〉では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」約4割5分で全国値を下回っている。

アンケート【学習環境・生活環境について】

「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」約2割で全国値を下回っている。

課題を受けて、今後取り組んでいきたい。

津雲小 国語A、国語B、算数A、算数B いずれも全国値を上回っている。

課題 国語…「ひらがなで表記されたものをローマ字で書く」

アンケート【学習環境・生活環境について】

「人の役に立ちたい」約100%、「人が困っているときは進んで助けている」73.4%全国値を下回り、矛盾がある。行動に移せないことに対して指導していきたい。
 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている」全国値よりやや低い。現在も指導しているが『何があってもいじめはだめだ』と言い切れるように指導したい。

古中 国語A、国語B、数学A、数学B ほとんどが全国値を上回っているが、領域によっては、下回るものがあった。

アンケート【自分自身のことについて】

「将来の夢や目標を持っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」全国値をやや下回っている。「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」「人が困ったとき進んで助けている」全国値を下回っている。改善していかないといけない。

11月30日(水)に保護者へ配付、ホームページにアップする。

2. (1) 10月21日(金) 小小交流、クラブ体験 アンケート集約

古小 開催時期 適切である。
 全体の流れ ・時程を明確にさせていただいて流れがわかりやすかったです。
 ・地震で待ち時間があった。その時間で小小交流ができれば良かった。
 ・次年度は、授業見学ができればと思う。

小小連携 ・ネーミング「小小連携」→「小小交流」ではどうか。
 クラブ体験 ・時間が短くなってしまい、クラブ体験がすぐ終わってしまった。準備していた中学生に申し訳なかった。
 その他 ・中学生が優しくて、6年生が嬉しそうだった。良かった。
 ・観劇と重なり申し訳なかった。日程調整が難しい。

古中 開催時期 適切である。9
 連合体育大会が終わってから。1 オープンスクールに合わせる必要はない。1
 全体の流れ ・時間がなくあわただしく、じっくり体験してもらえなかった。
 ・今回授業見学が割愛となったが、生徒の授業集中の点では良かった。
 →授業見学については、小学校の方は見たい。小中意見を出して来年度までに、事前指導、時間、方法等を検討していく。

クラブ体験 ・時間が短すぎた。

(2) 11月15日(火) 公開研究授業・研究協議 アンケート集約

古中 開催時期 適切である。7 予備懇談の期間は避けてほしい。1
 公開授業 ・実施教室に近い方が良い。
 ・小学校でお世話になった先生に見てもらい、中3生も喜んでいました。
 研究協議 ・2グループに分かれ全員が意見を言えて良かった。
 ・「言語力育成」というテーマが新・転任の方に伝えきれていなかった。

古小 開催時期 適切である。14 翌日が学研で2日続きとなった。1
 公開授業 適切である。11

研究協議 よかった 8
 ・全員の意見が聞けた。進行もスムーズだった。
 ・2部屋の方が、声が重ならず済む。
 ・講師を呼び、振り返りやアドバイスを受けるのも良いのでは。

その他 ・中学校の授業を見るのを毎年楽しみにしています。
 ・お忙しい中、ありがとうございました。

(3) 11月2日(水) 古中ブロック学習会「パワーハラスメントについて」は、古中研修会なのか、古中ブロック研修会なのか確認が不十分だったので、今後気をつけたい。

3. 冬季合同研修会について

日時 平成29(2017)年1月20日(金) 15時30分～
 場所 古江台中学校 集会室
 内容 講演「不審者対応について」(仮題)
 講師 大阪教育大学附属池田小学校 校長 佐々木 靖 様
 役割 講師との連絡：古中 藤田校長
 終わりの挨拶：津雲小 有岡校長
 受付：事務連携
 準備物詳細については、12月中に打ち合わせをする。

4. 公開授業 1月27日(金) 古江台小 6年 道徳
 講師として、立命館大学非常勤講師 牧崎幸夫 様を招聘する。
 小中一貫教育推進事業費残額2万円を執行予定。

5. 平成29(2017)年度 夏季合同研修会について
 1月20日冬季合同研修会のアンケートに項目を入れ、意見集約する。

6. その他 古中入学説明会・給食試食会…2月8日(水) 10時30分～
 案内文を12月中に小学6年保護者に配付、後日、試食会の申し込み回収。
 古中入学生 氏名確認…1月中旬頃 封筒印刷したもので行う。
 →古中へ入学しない児童(生徒)の情報については、別途、確認する。

次回、推進委員会 12月12日(月) 16:00～ 古江台中

ジョイント + + + プラス

2016年12月12日 古中にて

出席者 古中 藤田校長 阿部
 (敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
 津雲小 有岡校長 濱口 毛利 大野
 古幼 栗山園長代理

話し合われたこと

1. 冬季合同研修会について

日時 平成29(2017)年1月20日(金) 15時30分～
 場所 古江台中学校 集会室
 内容 講演「不審者対応について ～附属池田小事件に学ぶ～」
 講師 大阪教育大学附属池田小学校 校長 佐々木 靖 様
 進行 司会：古中 阿部教諭
 (役割) ①挨拶・講師紹介：古中 藤田校長
 ②講演
 ③質疑応答
 ④終わりの挨拶：古小 赤繁校長
 講師との連絡：古中 藤田校長
 案内作成：事務連携
 受付：事務連携
 準備物 プロジェクター、スクリーン、マイク(放送機器)、スリッパ
 (パソコンは講師持ち込み)

2. (1) 古中ブロック公開授業

日時 平成29(2017)年1月27日(金) 14時30分～
 内容 公開授業 古江台小学校 6年 道徳
 研究協議 講師：立命館大学非常勤講師 牧崎 幸夫 様

(2) 11月15日(火) 公開研究授業・研究協議 アンケート集約

津雲小 開催時期 適切である 14
 早いほうがよい 1(10月中)

公開授業 適切である 10
 ・2年連続社会が続いたのは、少し残念だった。
 ・社会が続いたので、負担にならないように。
 ・2、3年で全教科見れるとうれしい。

研究協議 ・グループ討議は、少人数のほうがよかった。
 ・討議の焦点を絞って話したほうがよかった。

その他 ・毎年、公開授業をしていただき、ありがとうございます。(中学校の授業を見ることは貴重なので)
 ・中学校での授業や子どもたちの様子が見れて良かったです。ありがとうございました。

3. 古中 平成29年度入学説明会、名前確認について

(1) 入学説明会(平成29年2月8日)

流れ 古中 案内文「入学説明会・給食試食会のご案内」作成 → 古小、津雲小へ

※給食代金1食548円は、補助金無しの金額

古小、津雲小 小学6年保護者へ配付(12月)

「給食試食会申込書」を集約 → 古中(1月20日締切)連絡

(2) 入学生徒名前確認について

流れ 古中 入学予定生徒の名前を印刷した封筒に「新1年生名前確認のお願い」を封入 → 古小、津雲小へ

古小、津雲小 小学6年保護者へ配付(1月中旬～下旬)

訂正があれば、保護者が入学説明会で提出

※古中へ入学しない児童(生徒)、悉皆調査の情報を逐次連絡する。

4. その他

(1) 平成28年度 小中一貫教育実施状況調査について

訂正等があれば、古中 内田教頭まで連絡する。

(2) ジョイントNo.33について

確定版をブロック教職員へ配付、市内小中学校、幼稚園、市教委指導室、市教育センターへ送付する。

(3) 言語力育成モデルについて

各校園で、検討された追記分を加え、次回推進委員会に持ち寄る。

(4) 教科や領域のカリキュラム編成(小中一貫教育実施プランⅡ重点項目)について

市教委から、教科や領域のカリキュラムを編成するように求められている。
校務なびライブラリー教育センターー幼小中一貫教育カリキュラムー研究グループ版に雛形があるので、まずは各校園で取り組み始めていく。

(5) 1月20日冬季合同研修会時のアンケート内容に、平成29(2017)年度 夏季合同研修会

のテーマ・講師、今年度の年度末反省の項目を入れ、次回の推進委員会で提案する。

1月20日冬季合同研修会配付・実施 → 集約 → 2月推進委員会

次回、推進委員会 1月13日(金)16:00～ 古江台中

第9回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2017年1月13日 古中にて

出席者 古中 藤田校長 廣瀬
(敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
津雲小 有岡校長 濱口 毛利

話し合われたこと

1. 冬季合同研修会について

日時 平成29(2017)年1月20日(金) 15時30分～
場所 古江台中学校 集会室
内容 講演「不審者対応について ～附属池田小事件に学ぶ～」
講師 大阪教育大学附属池田小学校 校長 佐々木 靖 様
進行 司会：古中 阿部教諭
(役割) ①挨拶・講師紹介：古中 藤田校長
②講演
③質疑応答
④終わりの挨拶：古小 赤繁校長
※アンケートの記入をしてもらうように司会より連絡してもらう。
研修終了後、集会室出口にて記入したアンケートを回収する。

講師との連絡：古中 藤田校長
受付：事務連携

準備物 資料印刷100部、プロジェクター、スクリーン、スピーカー、スリッパ
(パソコンは講師持ち込み)

2. 古中ブロック道徳研究授業について

日時 平成29(2017)年1月27日(金) 14時30分～
公開授業 14時30分～15時15分
研究協議 15時30分～17時
場所 公開授業 古江台小学校 6年1組教室
研究協議 古江台小学校 多目的教室・1年教室
内容 公開授業 「ブランコ乗りとピエロ」
授業者 柚田 真伸 教諭
研究協議 公開授業について
指導助言 立命館大学 非常勤講師 牧崎 幸夫 様
→各校園で研究協議のグループ分け(6つ)をした名簿を古小へ1月19日(木)までに送信する。

3. 古中 平成29年度入学説明会、名前確認について

- (1) 入学説明会(2月8日)前の給食試食会について
古小・津雲小：給食試食会申込書を集約 → 古中(1月20日締切)連絡
- (2) 入学生徒名前確認について
古中：入学予定生徒の名前を印刷した封筒に「新1年生名前確認のお願い」を封入

→ 古小、津雲小へ
古小・津雲小：小学6年保護者へ配付(1月下旬頃)
訂正があれば、保護者が入学説明会で提出
※古中へ入学しない児童(生徒)などの情報を逐次連絡する。

4. その他

- (1) 冬季合同研修会アンケートについて
冬季合同研修会で配付し、当日回収を行う。古中がアンケート内容を集約し、2月推進委員会に持参する。
- (2) 今年度の年度末反省について
・ブロックの取り組みを充実させるため、今年度の取り組みなどを総括し、次年度以降に繋げていくため年度末反省を各校園で実施する。
・後日、各校で年度末反省の用紙を配付し、1月中の締切で行う。各校園で集約して2月推進委員会に持ち寄る。
- (3) 古江台中学校区幼保小中一貫教育研究報告集について
・校園長挨拶、年間活動計画、ジョイントプラス、ジョイント、夏季研まとめ、公開授業指導案、事務連携、活動内容、言語力育成モデル、議論のルール、古中ブロックABC運動、古中ブロック100冊の本等を掲載する。
・公開授業指導案の電子データを、各担当者に確認して準備しておく。
・校園長挨拶：3校2園5名で(A4)2枚程度になるように作成する。
3月1日(水)までに校務なびで津雲小 大野さんへ送信する。
- (4) 言語力育成モデルについて
両小学校が追記した内容を確認。幼稚園・保育園・中学校については2月推進委員会で。
【追記内容】
<言葉の使い方>
中学年
・本の紹介カードづくり。
高学年
・文章の書き方としての様々な技法を配布し、例文をもとに練習問題に取り組む。
<言葉での思考の深め方>
中学年
・図工の鑑賞において、絵の特徴を言葉で表現し、伝え合う。
・幼稚園、保育園、中学校については2月推進委員会で追記した内容を持参する。
- (5) 教科や領域のカリキュラム編成(小中一貫教育実施プランⅡ重点項目)について
市教委から、教科や領域のカリキュラムを編成するように求められている。
「校務なびーライブラリー教育センターー幼小中一貫教育カリキュラムー研究グループ版」に雛形があるので、まずは各校園でカリキュラムについて共有していく。
- (6) 教育研究報告会(1月25日)について
古中ブロックの「幼保小中一貫教育推進における事務連携の役割」などについて、ブロックの事務職員が発表。当日の読み原稿、パワーポイント資料、持ち込み資料などの紹介を行った。

次回、推進委員会 2月13日(月)16:00～ 古江台中

第10回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2017年2月13日 古中にて

出席者 古中 藤田校長 内田教頭 阿部 廣瀬
(敬称略) 古小 赤繁校長 柚田 酒井 沖家
津雲小 有岡校長 濱口 毛利
古幼 栗山園長代理

話し合われたこと

1. 冬季合同研修会（「不審者対応」）のアンケートについて

- ・開催時期（1月20日）：参加しやすかったが大多数
- ・開催時期（15時30分～17時00分）：ちょうど良かったが大多数
- ・会場（古江台中学校）：適当が大多数
- ・佐々木 靖 様の講演：良かったが大多数
 - ・自分が現場に直面したらどう行動するか考えたり、危機管理の意識・組織づくりのための意義深い研修だった。
 - ・当事者にしか分からない具体的でリアルな話で、1つ1つの言葉を重く受けとけることができた。
 - ・色々な状況を想定して臨機応変に対応できるよう、日頃から訓練しておくことが大切だと思った。
 - ・マニュアルだけでなく、「子どもを守る」当たり前のことを当たり前に行えることが大切だと思った。
- ・その他
 - ・警備員の十分な配置は必須だが、予算措置や人的配置も大切。
 - ・早い時期に訓練を実施するべきと思った。

2. 古中ブロック道徳研究授業（1月27日実施）アンケートについて

【授業について】

- ・道徳の授業は難しいが、日々の生活との関連付けが大切と思った。

【研究会について】

- ・講師の牧崎先生の話がとても勉強になった。評価の話なども聞きたい。
- ・ブロックの道徳公開研究授業において、牧崎先生にまた来ていただきたい。

3. 言語力育成モデル追加報告について

【追記内容】 <言葉での思考の深め方>

幼稚園 ・グループ活動で話し合う ・グループ活動で伝え合う

4. 年度末反省アンケートについて

【古中ブロックのテーマについて】

- ・各幼保小中でさらに進めていけると良い。

【「言語力育成」の取り組みについて】

- ・各学校での公開授業の指導案により反映できれば良い。

【生徒指導の取り組みについて】

- ・旧6年と中1年の生指交流は情報交換ができて良い。
- ・中学校としては人間関係で解決したと思われる案件についても教えてほしい。

【夏季・冬季研修会の研修の進め方や分科会の持ち方などについて】

- ・アンケートやニーズを元に企画してほしい。
- ・夏季研修会の分科会の話し合う内容を変えたい。

【公開研究授業について】

- ・ちょうど良い

【中学校のクラブ見学や小中交流などの連携行事について】

- ・クラブ見学は中学生にとっても練習の励みになり良い。
- ・中学校の授業見学はなしでもいい。

【次年度以降の幼保小中連携を進めていくための具体的な取り組みについて】

- ・幼稚園では、1年生と5年生とも交流しているので、情報発信したい。
- ・幼保の交流も検討中。小学校としては幼稚園の指導も見たい。

【推進委員会の運営について】

- ・幼保小中連携なら1年や6年から1人ずつという考え方もありかもしれない。
→現在の構成メンバーは「各校園管理職、教育課程推進委員、努力目標委員、事務連携部会より各校1名」となっているが、6年担任が小学校から入っていると運営がスムーズだった。

※各校園の年度末反省にてブロックの反省内容を共有していく。

5. 来年度、夏季研修会の日程などについて

日 程：平成29年7月26日（水）か27日（木）が候補

テーマ：アクティブラーニングを取り入れた授業の考え方や実践方法について
スマホ・携帯のリスクや犯罪に関するもの

→講師について3月中に校長先生間で調整していただく。

6. 連絡

- ・入学式（古江台小）と対面式（津雲台小）で挨拶する児童を決め、3月23日（木）の小中引き継ぎ会にて古中 阿部教諭まで連絡。（原稿見本を両小学校へ阿部教諭よりFAXする）

→4月7日（金）14時～古中にて原稿読みなどの練習を行う。

7. その他

- ・ネットコム関係の行事日程（予想）について情報交換した。
 - ・4月15日（土）ネットコム事務局会議
 - ・5月13日（土）ネットコム総会・春季委員会
 - ・10月21日（土）ネットコムフェスタ打ち合わせ

日程は再度、確認してください。

次回 平成29年度 第1回推進委員会

4月24日（月）16時～ 古中にて（年間行事予定表を持参）

第2分科会		算数・数学	
司会・進行	森田(古中)	記録	今井(古小)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
<p>○考える、かく、伝えるなどの言語活動を取り入れる。 ○まず自分で考える学習展開にすることを意識している。 ○学習の始めに復習プリントを行い、まちがってもよい場とし、見直す力、学習習慣をつけるようにしている。</p> <p>△自分の言葉で伝えたり、ノートにまとめたりすることが苦手。 △「めんどろ」と感じて課題に取りかかりにくいことが苦手意識につながっている。</p>			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考える力 ・考えの過程をノートにまとめる力 ・解決したことを伝える力 <p style="text-align: center;">} 9年間でつきたい力ととらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し難しいことにも挑戦し努力する力…やらなければ成長はない。 			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・「割合」の考え方を学んだ内容のつまづきが、小中ともに多い。 ・学習の「めあて」は小中共通して板書してはどうか。 ・中3の1月末には学習内容を終わらせていなければならない。(入試のため) 			
4. その他(感想など)			

第1分科会		国語	
司会・進行	栃岡(古小)	記録	西田(津雲)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
<p>小学校 低学年では視覚的支援を多く使うことで興味を持たせる。 前時の復習として、掲示物を活用する。 辞書の活用(常に出せるように) 発表姿勢の徹底(相手を見る、はっきりと話す、誰に対して話しているのか、結果が言えているか?)</p> <p>幼稚園 話を聞く、反応する 相手の方向を向く 視覚的にわかりやすく</p> <p>中学校 答えを求めすぎず 班で話し合っで交流する 発表をみんなで行う</p> <p>課題 漢字の定着(時間の有効活用) 読解に対して思い込みが激しい (中学)消極的 提出物がルーズ</p>			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
<p>小学校 意味のある文。くっつきの言葉に気をつける。 はじめ・中・終わりの徹底。 構成の力の育成。(わかりやすく、詳しく、簡潔に) 日記の力不足。(出来事だけを書くのではなく、気持ちや状況を書いていこうにしていく)</p> <p>幼稚園 生活体験が大事。 遊びの中から学習していく。(話す・聞く・書く・もの数え方) 絵本を使うことでの学習。文字のない絵を見て考える。</p> <p>中学校 正確に「聞く・話す・読む・書く」を大事にする。</p> <p>課題 受け身な生徒が多い。 塾に行っていたら大丈夫と思っている。</p>			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
<p>提出物 地道な対応が必要。中学に行くともっと厳しくなる。 読書について 評価をするのは難しい。考えなければならない。 読解について(テスト) 文法の難しさ。問いかけにきちんと表せているか。 反応が薄い 誰かがしてくれると思っている。 積極性の欠如 発表回数を増やしていく 生徒が熱くなるよう取組をしていきたい。</p>			
4. その他(感想など)			
<p>幼稚園の先生の話が、非常に勉強になりました。「遊び」の中から学習していく。子どもの良い所を見つけるなど、素晴らしいと思いました。また、中学にどういった形でつなげていくと良いかが国語だけでも分かることができました。</p>			

第4分科会	理科		
司会・進行	西谷(古小)	記録	井上(津雲)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
<p>体験を通してみつけられるものを！←毎回必ず実験を行う。</p> <p>安全面(科学)→実際に見せて危険を感じさせる。よりスムーズにできる実験ができるように。</p> <p>事前実験は綿密に、ゆっくりちよつとずつ行う。</p> <p>流れを決めて行うことで安定した中で進める。(パワーポイントを作っている)</p> <p>手順通り=教科書を見せて安定した授業づくり</p> <p>→教科書はぬかりなく。指針・客観的にはかかれるものは絶対に！！</p> <p>点数を取る=定着させていく</p> <p>計画的に、小・中・大テストで反復させる</p> <p>用語を覚えること(基礎・基本)、けいさんできること</p> <p>課題 言語力を鍛えていかななくてはいけない。</p> <p>やったこと、わかったことは言葉にする。</p> <p>説明…データ、内容を問う。</p>			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
<p>言語力 まとめる・レポート</p> <p>→話したり、書いたりできるためには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を知っていること ・筋立てられること 			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
<p>実物を見せること=観察</p> <p>プリントをつくる(出典をつけて)</p> <p>評価について</p> <p>中学校 5段階 → 絶対評価へ</p> <p>観点で評価して → 評定</p> <p>興味・関心は何でつける？ 提出物(レポート、小テスト、問題集ワーク)</p> <p>小学校 客観的に区切って決める</p>			
4. その他(感想など)			
なぜ、理科教師になったか？ 好きだった。先生がよく褒めてくれた。			

第3分科会	社会		
司会・進行	中村(津雲)	記録	阿部(古中)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
<p>【工夫】<中学校>・基礎・基本の徹底。重要語句は必ず漢字で何回も書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習の発表(スピーチ)などもおこない、定期試験が苦手な生徒にA評価を付けるチャンスを与えている。 ・小学校で体験型の学習(田植えや工場見学など)をしてくれているので、中学校ではそれを深める形でおこなうことができている。 ・提出物は遅れたら減点対象となるが、遅れてでも必ず出すよう声かけをする。 <p><小学校>・地図帳(4年生で配付)をできるだけ活用するようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習を積極的に取り入れ、生徒が自発的に学ぶことができるようにしている。まとめ(新聞)をするときは、事実と意見を分けるように指導している。 <p>【課題】・考える力を身につけさせたいが、調べ学習などをする際、生徒によって情報格差がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタカナや促音を中学生になっても書くことが難しい生徒がいる。 ・社会=暗記科目 という固定観念を払拭させたい。 ・小学校から中学校に上がるとき、社会科においても様々なギャップがある。(小学校で採用しているテストは記述式の問題が少ない) 			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
同上			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・通知票は、小学校は3段階、中学校は5段階評定。観点別については、小中ほぼ同様。 ・小学校社会での学習(身近な地域→吹田市→大阪府)で地域を知ることが、中学2年生でおこなう職業体験につながる。 ・中学3年生で税理士を招いて出前授業をおこなった。外部の講師を呼ぶと普段とはちがう生徒の反応がみられた。一方、特別な指導を要する生徒への配慮なども必要。 ・小学6年生の修学旅行(広島)の際におこなわれる平和学習が、中学3年生の修学旅行(沖縄)につながっており、生徒は知識の習得だけでなく心で感じているようである。「平和学習」を基幹とした小中連携を、さらに深めていきたい。 			
4. その他(感想など)			

第6分科会		体育	
司会・進行	寺本(津雲)	記録	神田(古中)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から水泳に力を入れているので、中学校でもある程度長い距離を泳げたり、水に対する恐怖感を持っている子どもが少なくやりやすい。 ・その他の種目に関しては今までの生活経験も少なく、体力の低下も見られ、能力が低い子どもが多い。 ・それらの子どもに対しては、中学校に上がる前に、幼・小で触れたり、慣れることからはじめ、そこから様々な技に発展させることを心掛けている。 			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
<ul style="list-style-type: none"> ・どうしても「体力」が低下し、遊ぶ機会が減少している。 ・昔と比べると気温が高くなり外に出にくくなった上に冷房なども設置されるようになったので、小さい頃から外で遊ぶ機会が減ったこと、また遊べる公園が減少、スマートフォンやタブレット型のゲーム機が普及したことが大きな要因となっている。その中でも、自分たちでルールを工夫した外遊びを積極的に行えるようになってほしい。 			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・冬の長距離は中学校で15分間走をしているため、各小学校ではマラソン大会を行い練習している。 ・古江台小では、千里中央の公園、津雲台小では南千里の公園を使っている。 ・夏のプールでは、水着など小中であまり差が出ないように色を統一していく。 			
4. その他(感想など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ教科でも違う環境でどのように行われているか把握することは、お互いにとってプラスになった。 ・出前授業等で、負担がない程度にブロックが連携できたらと思った。いい機会だった。 			

第5分科会		英語	
司会・進行	三保谷(古中)	記録	酒井(古小)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
<ul style="list-style-type: none"> 津雲台小 <ul style="list-style-type: none"> ・できる子、できない子の差がつかないような授業作りをしていきたい。 ・系統性を重視したカリキュラム作りをしていきたい。 ・AETとの連携が難しい。 古江台小 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームが主だが、読み聞かせや映像、歌などの活動も取り入れている。 ・英語だけではなく、外国との慣れ親しみという観点から、文化の紹介などを取り入れていきたい。 ・Hi, friends!の使い方がわかりにくい。結局ゲームの教材、教具などを一から作る必要がある。 ・AETとの連携が難しい。 古江台中 <ul style="list-style-type: none"> ・1年生でついた自信を2年生でも引き続き持ち続けられるよう、アクティビティや洋楽を取り入れるなど工夫をしている。 ・1、2年生は分割して授業を行っている。 ・3年生は一斉授業をしているが、実力差が激しい。 			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
<ul style="list-style-type: none"> 津雲台小 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を楽しんでいる心、興味を持たせたい。英語の習得にこだわらなくてもよい。 古江台小 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な英語を聞いてなんとなく聞いたことがあるなという程度の力。 ・発達段階に応じたという観点が難しい。学校間で差が出ることはないよう、統一されたカリキュラムがあるといい。 また、外国語活動と英語ではつきたい力が異なる。 古江台中 <ul style="list-style-type: none"> ・受験に対応した力。 ・世界に通用する力。 ・話す時間を十分にとれないことが現状である。 			
3校共通 <ul style="list-style-type: none"> ・英語、外国語に対する興味。 ・なんとか自分の伝えたいことを相手に伝えようとする態度、アクティブさ。 			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校、小学校の教科書を見せ合いました。 ・中学校の実力テストを見せてもらいました。 →Hi, friends!と中学1年の学習はつながっているといえるか疑問である。 			
4. その他(感想など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが中学校のときに学習した英語と、だいぶ内容が異なってきている。 ・小学校から中学校へのつながりを大切にしたい。 ・小学校の間に英語を好きだという気持ちを育てておく必要がある。 			

第8分科会	事務連携		
司会・進行	大野(津雲)	記録	廣瀬(古中)
1. 幼小中一貫教育推進に向けて			
工夫できるところは工夫していく意識づけが大切。			
2. 事務連携について			
他の中学校ブロックでは、事務連携を行ってないところもある。 市と府の監査について情報交換した。			
<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 市の監査の時間配分ー1時間:書類審査 30分:校内点検 ・タブレット活用状況や保管場所のチェック ・就学援助費校長口座の流れや未納金の当て方、領収証について ・扶養変更における扶養協議書の日付について 			
3. 情報交換(児童・生徒との関わり、校務分掌での役割など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮が必要な児童について、どの程度の配慮が必要か情報交換した。 ・備品シールの活用法・先生の机の鍵の整備状況について。 ・平成28年4月から変更となった、小学校における先生の給食費の返金業務について 今まで学年差による差額返金のみだったが、行事欠食による単価分まで返金することになった。 金額が合致するか計算がさらに大変になった。 年度末に返金する際、分かりやすい明細をつけるよう工夫している。 ・市費予算切手の使用用途について ・食糧費・印刷製本費の執行状況について 			
4. その他(感想など)			
日常業務についてゆっくり情報交換でき、他校のやり方なども参考になり、良かった。 小学校と中学校で、若干異なる業務内容についても勉強になった。			

第7分科会	図工・美術・音楽・技術・家庭科		
司会・進行	岩本(古小)	記録	圓東(津雲)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
図工	工夫	書画カメラを使ってやり方を見せながら説明する。 1時間の流れを黒板に示しておく。	課題 各個人の能力に差がある。
音楽	工夫	音楽を好きになるようにいろいろなタイプの歌でしっかり声を出させる。 動作化して曲を理解させる。	課題 授業時数が少ないので、前時の事を忘れている。(中学校は特に)
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
小学校	低学年	指先の器用さ、道具の使い方(のり、はさみ等) 【現状】経験不足の子が多い。	
	高学年	自主性、計画性(期限までに作品を提出する) 曲の強弱など、どうしてそうなるか理由を考える力 【現状】作品の作成時間に個人差がある。期限までに終わらない。 楽譜の読み方などを忘れる。	
中学校		変声期の歌い方を知る。音楽的に歌う。 【現状】2年生あたりから恥ずかしさが出てきて声を出さなくなる。	
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
音楽	小学校	担任と音楽専科とのコミュニケーション(交換ノート等)を密にして子どもの様子を把握した上で授業を行っている。	
	中学校	鑑賞の学習は指定した複数のキーワードを使った文を根拠も含め作文したのも使い、評価している。	
音楽・図工		あゆみの鑑賞の評価に「よくできた」をつけないのはなぜか。(古小、津雲小)	
4. その他(感想など)			
それぞれの学校間の意見交換ができ、様子がよくわかった。			

第 10 分科会	養護教諭・栄養教諭		
司会・進行	山崎(古中)	記録	山本(古小)
1. 保健・衛生指導(健康教育、性教育など)について			
津雲台小	・1学期にからだについて、6月に口腔ケアセンターへ体験活動、3学期には手洗い・咳エチケット・薬物・たばこなど、4年の3学期に第二次性徴など		
古江台小	・1学期に4～5年に第二次性徴など、6年に薬物、2学期に熱中症など、10月に歯の指導、3学期に性被害・デートDV防止、薬物・たばこ・アルコール		
	・口腔ケアセンターに連れて行きたいが、電車賃がかかるので悩命中。		
古江台中	・1学期に熱中症、10月に1年に歯の指導、3学期3年に薬物乱用防止		
	・「中学生になったので、自分のからだは自分で管理しよう」		
2. 食育について			
小学校	・どちらの学校にも栄養教諭がないので、食育担当が年間カリキュラム案をつくり、学校全体で計画し各学年で実施している。		
	・古江台中の栄養教諭さんに来てもらって授業をしてもらった。		
古江台中	・吹田市学校保健大会での発表もあることから、大学の先生に指導してもらい指導案を作成した。		
	・夏休み前に、1年に1時間食育、1時間生活習慣についての授業をした。		
	・夏休みに、自分で家族の朝食をつくるという宿題を出した。		
	栄養バランスもちゃんと考えて、写真やレシピ・家族のコメントをつけて提出させる。		
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題など)			
	・中学校は、授業時間をもらうのが難しい・・・保健や家庭科の時間をもらえば？		
古江台中	・特別支援対象児童の小中引き継ぎの方法にもう少し工夫が必要である。		
	・巡回相談の履歴があるなど細かい情報も伝えてほしい。		
	・ボーダーの子どもは1年で大変でも卒業時には大丈夫になっていると、伝わらない。		
	・担任以外の人の情報もあるといい。		
4. その他(感想など)			
	・年に数回しか情報交換の場がないので、今回、とても有意義でした。		
	お世話してくださったスタッフのみなさん、ありがとうございました。		

第 9 分科会	支援		
司会・進行	花谷(古小)	記録	毛利(津雲)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
古中	16名が在籍。2年から在籍する生徒や在籍だけの生徒もいる。子どもによって教科毎に抽出。実技は入り込みしている。最初1ヶ月は全員入り込みし、5月の連休後にどうするか決めて、時間割を組む。合科の時間が取れない事が課題。抽出は3人ぐらいを1度に見る。保護者の要望をもとに課題の内容を決める。		
古小	16名在籍。学年毎に国語や算数を抽出している。入り込みの場合もある。合科は全員で行う。支援で時間割を組む。		
津雲小	20名在籍。支援で時間割を組む。抽出は国語と算数が基本。実技など担任からの要望があれば入り込む事もある。合科は全員で行う。		
古幼	支援学級がない。課題がある子どもは原因が発達か育ちかを見極めている。通級する場合もあるが、その場合は保護者の了承を得る必要があり、高い壁を感じる。得意不得意があるので集中力・聞く・話す事など課題のにている子どもを近い席にして支援するようにしている。		
2. 子どもの発達段階に応じた「つけたい力」と現状			
古中	支援では話をするのにクラスに戻ると話す事ができなくなる。繋いでほしいと思っていない。周りの子どもが配慮できるようになるのでトラブルは少なくなる。		
古小	学童がなくなる4年生が大変。学校に居場所がなくなり登校しづらい子どもがいる。		
津雲小	低学年は周りの子どもと遊ぶことができるが、上の学年になるにつれてコミュニケーションがとりにくくなる。		
古幼	コミュニケーションがとりにくい子どもの対応。グループでの話し合いで関わり方を学ぶ。できるだけいろんなグループを作る。		
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
	小学校は支援学級の子どもの様子、中学校は1年生の様子を話し合った。		
	通知表は、中学校は全教科記述で書いてある。抽出の場合はその教科の評定は空欄で出している。小学校は入り込んだり、抽出したりする教科を記述している。通常の通知表には評価できるは記録して、できないものは空欄にしている。		
4. その他(感想など)			

第5学年 外国語活動指導案

授業者 河本 美稀

- 日時 2016年6月24日(金) 6限目(14:30~15:15)
- 学年・組 5年2組 (男子19名 女子12名 計31名)
- 場所 図工室
- 単元名 I like apples. (Hi, friends! 1 Lesson4)

5. 指導にあたって

本教材では、Lesson1で学習した「自分の名前」を相手に伝えることやLesson3のインタビュー活動をもとに「自分の好きなもの・嫌いなもの」を積極的に伝えることを最終の目的としている。好きなものは児童にとって身近な食べ物、飲み物、動物やスポーツに設定し、さらにすでに外来語として触れたことのある語を取り上げる。テキストに取り上げられていないものが好きだという場合には、児童の「伝えたい」という気持ちを大事にし、その気持ちを育むために、個人的な指導によりできるだけ取り上げるようにする。また、児童にとって日常生活で馴染みのある外来語を扱うことで、英語と日本語の発音や表現の違いにも気づかせることができる。その際、AETの発音を聞かせたり、ゲーム等で繰り返し発音したり、様々な方法を用いて指導する。

本学級の児童は、意欲的に学習に取り組むことができる。比較的男女の仲もよい。ペア活動や班活動でもしっかりと話し合いをすることができる。本学年は4年生から外国語活動が始まっており学習するのは2年目にあたる。4年生の時には、年間20時間の外国語活動があり、そのうち10時間はAETとの授業が行われており、楽しみにしていた。5年生になった今でも、外国語活動の時間を楽しみしている児童が多い。しかし、外国語活動に対して得意な児童と苦手な児童の二極化がでている。苦手な児童は、発音に対して苦手意識が強く、なかなか声に出して言うことができない、そこで、みんなで言う機会を増やしたり、1人で言うのではなくペアやグループで言ったりする場面を多く取り入れるようにしている。

本単元では、自分の好きなもの・嫌いなものの言い方や友達に好きかどうか尋ねるときの尋ね方に触れさせていく。児童の不安感をなくし、コミュニケーションを図ることの楽しさを実感できるように次のような点に注意して指導していきたい。

- ①コミュニケーション活動の話題として、食べ物、飲み物、動物、スポーツ等、児童が外来語として聞き慣れているものを教材とする。そのことは、児童にとって親しみがあり関心をもって活動に取り組めると考える。
- ②単語の練習では、リピート練習するだけでなく、様々なゲームを取り入れることで、楽しんで自然に身に付けることができるように考える。
- ③I like や I don't like、Do you like の表現になれる活動では、ゲームやグループでの活動を取り入れえることで友達と一緒に活動して、自然と慣れ親しむことができると考える。外国語活動を苦手と感じている児童も友達と一緒に活動することで、分からないことを友達に聞くことができ安心して活動することができるように考える。
- ④友達とコミュニケーションを取る活動では、活動に入る前に使用する表現をしっかりと練習する時間を取ることで、積極的に活動でき、色々な友達とコミュニケーションを取ることができると考える。インタビュービンゴでは、16マスに設定し、いくつビンゴができたかを尋ねる。また、1回尋ねた友達に2回目はなしにすることで、多くの友達に尋ねることになる。

6. 本単元での表現と主な語彙

表現	Do you like ~? Yes, I do. I like ~./ No, I don't. I don't like ~.
語彙	食べ物 cherries, apples, strawberries, lemons, bananas, pineapples, peaches, grapes, oranges, melons, kiwi fruits, ice cream, milk, juice
動物	birds, rabbits, dogs, cats, spiders
スポーツ	baseball, soccer, swimming, basketball

- ・好きなものや嫌いなものについて、積極的に伝えようとする。
[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]
- ・好きなものや嫌いなものを表現したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。
[外国語への慣れ親しみ]
- ・日本語と英語の音の違いに気づく。
[言語や文化に関する気づき]

8. 単元の評価規準

- ・好きなものや嫌いなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしている。
- ・好きなものや嫌いなものを言ったり尋ねたりしている。
- ・日本語と英語の音の違いに気付いている。

観点	評価場面と方法	おおむね満足な姿	おおむね満足する姿に達していない場合に考えられる支援
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	【第3時】 ・インタビュービンゴをしている場面	○友達に好きかどうか尋ねたり、尋ねられたことに対して、好きか嫌いか答えたりしている。	・友達に尋ねたり、答えたりしていない。 ※隣で一緒に言う練習をする。やり取りの流れを掲示する。
	【第4時】 ・Who am I? ゲームをしている場面。 <行動観察・振り返りカード>	○質問して、誰なのか当てようとしている。 ・Do you like ~? などの表現を使っている。	・Do you like ~? の表現を使って尋ねていない。 ※ペアで言ったり、ヒントカードを示したりする。
外国語への慣れ親しみ	【第2時】 ・全体でステレオゲームをしている場面 <行動観察・振り返りカード>	○前に出たグループに対して、Do you like ~? の表現を使って、何と言っていたか尋ねている。	・Do you like ~? の表現を使って尋ねていない。 ※ペアで言ったり、ヒントカードを示したりする。
	【第3次】 ・めくり問をしている場面	○引いたカードのものに対して、自分が好きか嫌いか答えたり、友達に好きかどうか尋ねたりしている。	・好きか嫌いかの答え方が分からず、答えることができない。 ※担任が横に寄り添って一緒に活動したり、板書を見る声掛けをしたりする。
言語や文化に関する気づき	【第1時】 ・AET や友達の好きなもの・嫌いなものを聞いている場面 <行動観察>	○AET の話を聞きながら like と don't like の違いに気づき答えている。	・クイズに正解することだけ考え、周りを見ながら○×の判断を行っている。 ※違いが分かるようにジャスチャーを交えて行う。

9. 単元の指導計画 (全4時間)

時	目標と主な活動	指導者の支援と評価			
		コ	慣	気	評価規準<方法>
1	日本語と英語の音の違いに気づき、好きなものや嫌いなものを表す表現を知る。 ○出てくる食べ物・動物・スポーツの単語の発音練習をする。 【P1】ポインティングゲーム ○I like ~. I don't like ~. の表現を知る。 【P2】○×ゲーム 【L】AETの読む教材を聞いて、教科書の点を繋ぐ。			○	★日本語と英語の物の言い方の違いに気付いている。 ★自分の好きなものやそうでないものの言い方を知り、会話を楽しむ。 <振り返りカード>

2	好きなものや嫌いなものを表す表現に慣れ親しみ、人に好きかどうかをたずねる表現を知る。 ○単語の練習 【P1】 ミッシングゲーム ○Do you like～?の表現を知る。 ・ Do you like～?の表現の練習をする。 【P2】 ステレオゲーム	○	○	★好きなものや嫌いなものを表す表現を聞いたり言ったりしている。 <行動観察・振り返りカード>
3 本時	好きなものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○単語の練習 【P1】 キーワードゲーム ○Do you like～?の復習 【P2】 めくり問をする ○Do you like～?を使ってゲームをする。 【A1】 インタビュービンゴをする	○	○	★好きなものを尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード>
4	好きなものや嫌いなものについて積極的に伝え合おうとする。 ○単語・表現の練習 【P1】 かるたゲーム 【P2】 ジェスチャーゲーム 【A1】 Who am I?ゲーム	○	○	★好きなものを進んで尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード>

1 - Lesson3 I like apples. 1/4 時間 目標 日本語と英語の音の違いに気づき、好きなものや嫌いなものを表す表現を知る。 準備 教師用絵カード (食べ物、動物、スポーツ)、振り返りカード
--

児童の活動	指導者の活動	準備物
・あいさつをする (日直が前に出る) (日直) Stand up, please. Hello, everyone. (全体) Hello, ~. How are you? (日直) I'm ~. Sit down, please.	・日直と児童全員とであいさつをする。指導者も参加する。 ・言葉につまったときは支援する。	
○使用する単語を知り、発音の練習をする。 ・ポインティングゲーム	・AETの発音した単語の絵をきちんと押さえることができているか見て回り、悩んでいる児童には担任がもう一度発音する。 ※評価	・教師用絵カード ・教科書
○I like ~. I don't like~.の表現を知る。 ・○×ゲーム ・AETの読む教材を聞いて、教科書の点をつなぐ。	・AETにすきなもの、きれいな物を言ってもらう。 ・理解できていない児童には、近くに行って、ジェスチャーやAETの表情を見ると良いことを伝える。 ・聞き取れなかった児童には、もう一度担任が繰り返している。	・教師用絵カード ・教科書

○本時の振り返りをする。振り返りカードを書く。 ・あいさつをする。 (日直) Stand up, please. That's all for today. See you, everyone. (全体) See you.	・本単元で使用した表現が言えたか、理解できたか確認する。 ・児童の良かった点をコメントする。	振り返りカード
--	---	---------

評価 ・日本語と英語の物の言い方の違いに気付いている。【気】 ・自分の好きなものやそうでないものの言い方を知り、会話を楽しむ。【慣】 <行動観察・振り返りカード>
1 - Lesson3 I like apples. 2/4 時間 目標 好きかどうかを尋ねたり自分が好きかどうか答えたりして、会話を楽しむ。 準備 教師用絵カード (食べ物、動物、スポーツ)、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備物
・あいさつをする (日直が前に出る) (日直) Stand up, please. Hello, everyone. (全体) Hello, ~. How are you? (日直) I'm ~. Sit down, please.	・日直と児童全員とであいさつをする。指導者も参加する。 ・言葉につまったときは支援する。	
○単語の練習をする。 <u>ミッシングゲーム</u> ・黒板からなくなったカードを考え I like ~?で聞く。 ・1回目を行う。	・前時で発音したカードを黒板にはり、一通り発音する。 ・単語数が多いので2回に分けて行う。 ・児童に目を閉じるように指示してから、1回目に練習した教師用絵カードの中から1枚選び、隠す。 ・挙手している児童の中から一人指名して、なくなったカードを I like ~. で答えさせる。 ・正解だったときは、Yes, I do.間違ってしまった場合は、No, I don't.で答える。 ・4, 5回程度行う。 ・2回目に練習した教師用絵カードを使用して4, 5回行う。 ・2回目は、担任の役割を児童一人指名して行わせる。	・教師用絵カード
○Do you like の表現を知る。 ・Do you like の表現の練習をする。	・一人ずつ指名し、Do you like~?の表現で好きかどうかを聞いていく。 ・答え方が分からない児童には、板書を示し一緒に言うようにする。	・教師用絵カード

<ul style="list-style-type: none"> ・ステレオゲーム ・5, 6人のグループを作り、自分のいう単語を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステレオゲームの説明・デモンストレーションをする。 ・グループを作り、グループ内でかぶらないようにして、一人ひとつ好きな物を決めるように指示を出す。 ・決めるときは、他グループに聞こえないようにこっそりと決めさせる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ①答える児童は、I like と尋ねる。 ②出題グループは、I like に続けて、口々に単語をいう。 ③当てる児童は、名前をよび、Do you like～で聞く。 ④合っていたら、Yes, I do. 間違っていたら No, I don't.で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に聞き取ることができなさそうだった場合は、もう一度尋ねさせる。 ・尋ね方が分からずにゲームに参加する事ができない児童は、ペアで相談する時間を取ったり、担任が近くにいて一緒に考えたりする。 ・児童の良かった点をコメントする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返りをする。振り返りカードを書く。 ・あいさつをする。 (日直) Stand up, please. That's all for today. See you, everyone. (全体) See you. 	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元で使用した表現が言えたか、理解できたか確認する。 	振り返りカード

評価
 ・好きなものや嫌いなものを表す表現を聞いたり言ったりしている。【慣】<行動観察・振り返りカード>

<p>1-Lesson3 I like apples. 4/4 時間</p> <p>目標 好きなものや嫌いなものについて積極的に伝え合おうとする。</p> <p>準備 教師用絵カード(食べ物、動物、スポーツ)、振り返りカード</p>
--

児童の活動	指導の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする(日直が前に出る) (日直) Stand up, please. Hello, everyone. (全体) Hello, ~. How are you? (日直) I'm ~. Sit down, please. 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直と児童全員とであいさつをする。指導者も参加する。 ・言葉につまったときは支援する。 	教師用絵カード
<ul style="list-style-type: none"> ○単語の練習をする。 カルタゲーム ・ペアになり絵カードを机に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で発音したカードを黒板にはり、一通り発音する。 	児童用絵カード

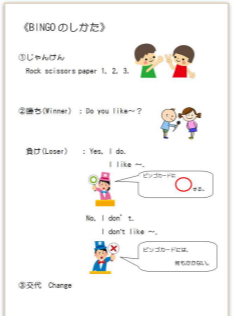
<ul style="list-style-type: none"> ○Who am I?ゲーム ・デモンストレーションをみる。 ・自分の好きな物、嫌いな物を考えて、ワークシートに書く。 ・4~5人グループになり、クイズを交換して、練習する。 ・グループ全員が前に出て、クイズをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ担任がクイズを考えておき、質問する。 ・ワークシートを見ながら、自分の好きな物には○、きらいなものには×をつけて行く。 ・一つだけ、オリジナル好きの物を考える。(そのときは、英語での言い方が分からなければ日本語でも良いことを伝える。) ・グループになり、順番と誰のクイズを出すか決めて、練習を行う。 ・言い方に悩んでいる児童がいた場合は、グループで教え合って練習するように伝える。 ・①~③が全部言い終わるまでは、分かったとしても言わないように指示を出す。 ・①~③の内容で分からなかった時は、Do you like~?を使って、質問しても良いことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Who am I?のワークシート
<ul style="list-style-type: none"> ①好きな物 ②きらいなもの ③オリジナル好きな物 		
<ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返りをする。振り返りカードを書く。 ・あいさつをする。 (日直) Stand up, please. That's all for today. See you, everyone. (全体) See you. 	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元で使用した表現が言えたか、理解できたか確認する。 ・児童の良かった点をコメントする。 	振り返りカード

評価
 ・好きなものを進んで尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード>

10. 本時の目標
- ・友達に好きかどうかを積極的に尋ねたり答えたりする。
 - ・好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

11. 本時の計画 Lesson4 3/4

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする(日直が前に出る) (日直) Stand up, please. Hello, everyone. (全体) Hello, ~. How are you? (日直) I'm ~. Sit down, please. 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直と児童全員とであいさつをする。指導者も参加する。 ・言葉につまったときは支援する。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ物、スポーツ、動物の言い方を思い出す。 ・キーワードゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを使って復習する。 ・キーワードを一つ選び、カードを示す。 ・何回か繰り返す。 ・教師が言う単語を繰り返すように指示する。 	絵カード
	○めあてを確認する。	Do you like ~?をたくさん使おう。	めあて

<p>10分</p>	<p>○Do you like~?の言い方を復習する。</p> <p>○めくり間をする。 ・3人グループを作る。 ①カードをめくる。 ②出たカードに描かれているものが好きかどうかを右隣の人に尋ねる。 ③聞かれた人は答える。 ①~③を順番に繰り返す。</p> <p>C1: Do you like apples? C2: Yes, I do. I like apples. No, I don't. I don't like apples. C1: OK.</p>	<p>・反復練習する。</p> <p>・一人児童を指名して、デモンストレーションをする。</p> <p>・活動のポイントを確認する。</p> <p>Clear voice / Eye contact / Smile</p> <p>・各グループを回りながら、困っている児童がいたら支援する。</p>	<p>・使用する表現を大きく書いたもの</p> <p>・活動のポイント</p> <p>・絵カード(小) 各班</p>
<p>15分</p>	<p>○インタビュービンゴの仕方を 知る。</p> <p>C1: Hello. C2: Hello. C1, C2: Rock scissors paper 1, 2, 3. (C1 が勝ったとき) C1: Do you like apples? C2: Yes, I do. I like apples. No, I don't. I don't like apples. Do you like milk? C1: Yes, I do. I like milk. No, I don't. I like milk. See you. C2: See you.</p> <p>○インタビュービンゴの準備をする ・ビンゴカードを作る。(日本語で書く)</p> <p>○インタビュービンゴをする。</p>	<p>・児童一人を指名し、デモンストレーションをする。 ①じゃんけんをする。 ②勝った児童が先に、Do you like~. を使って質問する。 →・Yes, I do.のときはビンゴカードに丸を付ける。 ・NO, I don't.のときはビンゴカードには何も書かない。 ③負けた児童も②の活動を行う。</p> <p>・ビンゴカードを配付する ・ビンゴカードに Lesson4 で出てきた単語の中から自分で1 2こ選び書かせる。(あらかじめ4ます埋まったものを準備する。)</p> <p>・あらかじめ入っている、なっとう・ライオン・キティ・チョコレートの発音を確認する。 ・活動を始める前に活動のポイントを確認しておく。</p> <p>Clear voice / Eye contact / Smile</p> <p>※評価</p> <p>・いくつビンゴが完成したか聞く。 ・児童の良かった点をコメントする。</p>	<p>・絵カード(大) ・ビンゴカード ・ビンゴのルール</p> 
<p>5分</p>	<p>○本時の振り返りをする。振り返りカードを書く。</p>	<p>・本単元で使用した表現が言えたか、理解できたか確認する。</p>	<p>・振り返りカード</p>

<p>・あいさつをする。 (日直) Stand up, please. That's all for today. See you, everyone. (全体) See you.</p>		
--	--	--

※評価

★好きなものを選んで尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード>

12. 板書計画

<p>Do you like~?を たくさん使おう!</p> <p>Do you like~? Yes, I do. I like~. No, I don't. I don't like~.</p>	<p>教師用絵カード</p>	<p>Clear voice Eye contact Smile</p>	<p>今日の予定 1 あいさつ 2 復習 3 めくり間 4 インタビュー 5 ふり返り</p>
		<p>ビンゴカード</p>	<p>ビンゴカード</p>

インタビュー-BINGO!

			 なっとう
	 キティー		
 チョコレート			
		 ライオン	

<Lesson 4> I like apples.好きなものをつたえよう 振り返りカード

<p>月 日 名前【 】</p>	<p>よくできた</p>	<p>できた</p>	<p>できなかった</p>
<p>○進んで活動できましたか。</p>	<p>(^O^)</p>	<p>(^_^)</p>	<p>(>_<)</p>
<p>○笑顔で、楽しく活動をしましたか。</p>	<p>(^O^)</p>	<p>(^_^)</p>	<p>(>_<)</p>
<p>○はっきりした声で言葉を言ったり、話したりしましたか。</p>	<p>(^O^)</p>	<p>(^_^)</p>	<p>(>_<)</p>
<p>○相手の方を見て話したり聞いたりしましたか。</p>	<p>(^O^)</p>	<p>(^_^)</p>	<p>(>_<)</p>
<p>※今日の活動の感想(会話の楽しさや友だちのよいところ、新しい発見等)を書きましょう。</p>			
<p>-----</p> <p>-----</p>			

社会科学学習指導案

吹田市立古江台中学校
授業者 阿部 千春

- 日時 2016年11月15日(火) 6限(14時35分～15時25分)
- 場所 本校3年3組教室(D棟2階)
- 指導学級 第3学年3組(男子19名・女子15名 計34名)
- 単元名 現代の民主政治 <第3章 現代の民主政治と社会>
(使用教科書:東京書籍『新しい社会 公民』)
- 指導計画 (全5時間)

第1時 民主主義と政治	第4時 政党と政治
第2時 政治参加と選挙Ⅰ	第5時 マスメディアと世論
第3時 政治参加と選挙Ⅱ (本時3/5)	

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
将来、国政に参加する公民として、みんなで話し合い決定するという民主政治の基本的な考え方に立ち、積極的に話し合いに参加し、考えようとしている。	選挙は、主権をもつ国民の意思を政治に反映させるための方法であることに気づく。また、主権者として主体的に政治に参加することの意義、過程、結果を表現している。	最近の選挙に関する話題や各政党の公約などについて新聞記事やインターネットなどを活用して資料を収集し、比較し、まとめることができる。	選挙の意義と日本の選挙制度について理解し、その知識を身につけている。

7 生徒観

本学級は、素直で元気な生徒が多く、男女の仲が良い。個性豊かであり、学校行事や生徒会活動において中心的な役割を果たす生徒もおり、一致団結して盛り上がる事ができる。また、意欲的に授業に臨む生徒が多く、独創的な考えを自由に発言できる雰囲気がある。控えめな生徒もいるが、ノートを見ると自分なりの考えをしっかりと持っていることに気づかされる。一方、学力の面でしんどい生徒や、生活のリズムが整わず漫然と授業に臨む生徒も見受けられる。机間巡視の頻度を増やし、個別に声かけをするよう心がけている。

今回の授業を通じ、3年後には選挙権をもつことになる生徒たちが主権者としての自覚をもてるよう促したい。

8 教材観

公職選挙法が改正され、2016年6月19日より選挙権を得る年齢が18歳へと引き下げられた。「選挙に行く生徒を育てる」ということは、よりよい主権者の育成という観点からみても当然のことである。しかし、現状は、投票率の低下が日本の選挙の課題となっており、とりわけ若年層の投票率はきわめて低い。また、少子高齢化がすすみ、若年層の人数自体の減少が著しい。中学生

にとって選挙というものは、政治に対して意思を表明する大事な方法と知りつつも、この問題は切実感がなく、実感が湧かないのが現状である。

そこで本教材では、近年 問題となっている「若者の投票率の低下」を通して、有権者、立候補者それぞれの立場からこの問題を捉え、1票の尊さを考えさせたい。

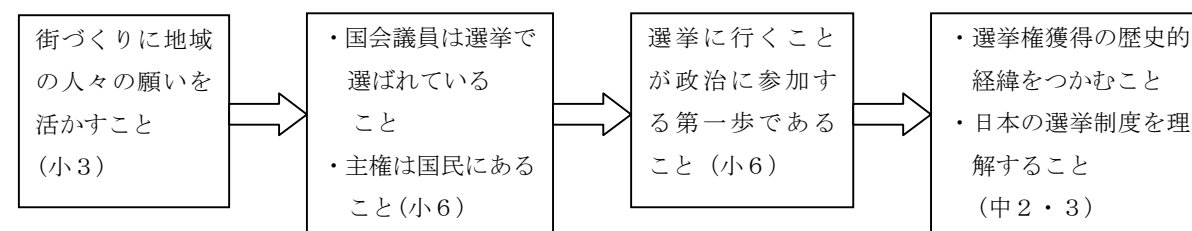
9 指導観

本時のねらいは、投票率の低下を身近な問題として考え、主権者として選挙の意義を捉え、1票の尊さを考えさせることである。その問題に切実感をもたせるために、実際の選挙のシミュレーションをおこないたい。まず、立候補してみると仮定し(被選挙権)、どんなことを政策(公約)として有権者にアピールするかを考えさせる。次に、有権者となって投票してみると仮定し(選挙権)、有権者の目線でどの政策が魅力的に感じられるかを体感させる。

もちろん、「投票率の低下=損をする」というのは一面的な側面では捉えていないことは承知である。しかし、中学3年生という発達段階をふまえ、「生徒たちが主権者としての自覚をもって選挙に行くことは社会参画意識の育成につながる」と考え、この授業を構成した。

また、古中ブロックの教育目標である「言語力の育成」を意識し、小集団での話し合いや学級全体での交流場面を設定している。言語活動を通して表現力を高めると同時に他者と自分との意見のちがいに気づけるよう働きかけたい。

【既習事項との関連】



10 本時の目標 (評価規準)

- 「模擬選挙」という学習活動に意欲的に参加している。【関心・意欲・態度】
- 投票率の低下を身近な問題として考え、主権者として一票の尊さに気づき選挙の意義を捉えることができる。 【思考・判断・表現】

11 本時の展開

	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点	評価規準 【評価方法】
導入	・18歳選挙権について	・自分自身が18歳以上と仮定して、投票日と友だちとの約束が重なってしまったらどうするかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 「18歳選挙権」について提示し、わずか3年後に選挙権を得ることに気づかせる。 歴史で学んだことと関連づけ、選挙権を得るということは簡単なことではなかったことを思い出させる。 年齢別の投票率を伝える。 	

展開	めあて 「模擬選挙を体験しよう！」	・めあてを提示する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・政治家になろう ・政策を考えよう ・演説をしよう ・演説を聴こう 	<ul style="list-style-type: none"> ・4人(または5人)の班に分かれ、模擬選挙に立候補する人とスタッフを1人ずつ決める。(8班できる) ・スタッフは、公約を決めるくじを引く。 ・班で、公約に基づいた具体的な政策を考える。演説で有権者の票を得るための工夫をする。特に推したい政策を色画用紙に記入する。 【15分間】 ・机を元の状態に戻し、立候補者とスタッフが前に出て演説をする。 ・印象に残ったことをメモしながら、演説を聴く。 ・どの立候補者の演説が心に響いたかを記入する。 ・年齢設定されたうえで、どの立候補者に投票したいかを理由をつけて決め、ワークシートに記入する。 【ワークシート①②③】 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの一連の流れを学級全体に説明する。指導者が見本をみせる。 ・なぜそのような政策なのか、と、根拠を明らかにした方が説得力があることに気づかせる。(・・・なので～しますという形にさせる) ・机間巡視をし、考えがまとまらなかったり、行きづまったりしている班があれば、資料を渡したりヒントを与えたりする。 ・生徒を70代以上(1列)、60代(2列)・50代・40代、30代以下(各1列)と、列ごとに世代を振り分け、その年代になったつもりで演説を聴くよう伝える。 ・他の候補者とのちがいが分かるよう、メモを取りながら演説を聴くよう指導する。 ・「投票」＝「政治参加」とつながるように促す。 	<p>〔関〕 自らすすんで意見を述べている。 【行動観察】</p> <p>〔思〕 立候補者の話を聴き、自分の考えをふまえて評価できている。 【ワークシート】</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙の意義についてまとめよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて、選挙に行かないということはどういうことなのか感じたことを、ワークシートに記入する。 【ワークシート④】 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票率が低い世代に対して政策を掲げても当選しにくいという立候補者からの立場を理解させる。【資料1・2】 ・投票に行くということは、自分たちの考えが政治に反映され、自分たちの世代に向けた政策も実施されやすくなることに気づかせる。 	<p>〔思〕 選挙に行くということはどういうことなのか、考えることができている。 【ワークシート】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1票の尊さや選挙に行くことの大切さにふれ、まとめをさせる。 ・ワークシートを回収する。 	<p>〔関〕 模擬選挙に関心を持ち、意欲的に参加している。 【自己評価】</p>
--	---	---	--

12 具体的な評価場面における判断のポイント

評価の観点【評価方法】	判断するポイント (A・B)
<p>関心・意欲・態度</p> <p>模擬選挙に関心を持ち、学習活動に意欲的に参加しているか。 【行動観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●おおむね満足 (B) と判断するポイント ・自分なりの考えをもち述べることができ、友だちの意見を聴くことができる。 ■十分満足できる (A) と判断するポイント ・筋道を立てて自分なりの考えをもつことができ、分かりやすく伝えることができる。 ・友だちの考えを尊重しながら意見交換することができる。
<p>思考・判断・表現</p> <p>投票率の低下を身近な問題として考えられているか。【ワークシート】</p> <p>主権者として一票の尊さに気づき選挙の意義を捉えることができる。 必要な情報を取り出したり、争点を整理したりしている。【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●おおむね満足 (B) と判断するポイント ・立候補者の演説を聴き、必要に応じてメモをとることができる。 ・設定された年齢で、どの立候補者の政策に惹かれたかを理由とともに述べるができる。 ■十分満足できる (A) と判断するポイント ・立候補者の演説を聴き、要点を整理しながらメモをとることができる。 ・設定された年齢で、どの立候補者の政策に惹かれたかを論理的に述べるができる。

★公約 (くじ引きで決定)

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| 1 少子化 | 2 教育 | 3 子育て | 4 税制 |
| 5 雇用 | 6 環境 | 7 原発 | 8 福祉 |

技術科 学習指導案

授業者：吹田市立古江台中学校 梶本剛史

1. 日時 : 平成 28 年 11 月 15 日 (火) 第 6 時限
2. 場所 : 吹田市立古江台中学校 1 年 2 組教室
3. クラス : 1 年 2 組 (4 1 名)
4. 単元名 : 材料と加工法 (じょうぶにする方法を知ろう)
5. 生徒観 : 今回授業を行う 1 年 2 組はとても明るく活発なクラスである。教師の発問に対して積極的に発言する生徒が多い。まわりを見て考えて行動できる生徒が多く、グループ活動ではたくさん意見を出し合ってメンバー全員で話し合い、とても良い活動が見られるクラスである。
6. 教材観 : ものづくりの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に活用する能力と態度を育てることが必要である。
7. 指導観 : この単元では製品をじょうぶにする方法を知り、日々の生活の中でその技術が活用されていることに気づくことが大切である。製作実習の授業でその技術が応用されていることを実感させることにつなげていく。
8. 指導計画 :
 - 1 時間目 材料の特徴を知ろう
 - 2 時間目 製作品の構想をまとめよう
 - 3 時間目 製作に必要な図を知ろう
 - 4 時間目 材料に適した加工法を知ろう
 - 5 時間目 木材の切断をしよう
 - 6 時間目 じょうぶにする方法を知ろう (本時)
 - 7 時間目 作業手順を考えて製作しよう

9. 評価規準 :

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
身のまわりの製品の構造に関心を持ち、製品ごとの構造の特徴を調べようとしている。	使用目的や使用条件を考え、部品の形を工夫して製品をよりじょうぶにする方法を考えている。	製品に加わる力の大きさや方向を考え、製品の構造を決定できる。	材料の形や組み合わせ方法などを変えることによってじょうぶになることを理解し、製品を用いて説明できる。

10. 本時の学習過程

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の方法
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教卓に付いている鉄板の役割について個人で考える。 ・ 個人で考えた鉄板の役割をグループで話し合い、班で意見をまとめる。 ・ 各班から出た意見を全員で確認する。 ・ 本時の学習目標を知る 	<p>(教卓の鉄板と生徒机の写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品をじょうぶにする方法を知ることは、製品を設計したり作ったりする上で、とても大切なことであることを知らせ、生徒の意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教卓に付いている鉄板の役割について意欲的に考え、プリントに書き込んでいる。 (関心・意欲・態度) ・ 個人で考えた意見をグループで積極的に話し合っている。 (関心・意欲・態度)
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木材を四角形と三角形に組み合わせたのでは、どちらがじょうぶかを個人・グループで考える。また、その理由を考える。 ・ 四角形の建造物は、じょうぶな構造にするために、どのような工夫がされているかを個人・グループで考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四角形構造と三角形構造の模型を提示して、四角形構造は不安定で三角形構造は安定していることを実感させる。 (四角形構造と三角形創造の模型を見せる) ・ 四角形の建造物をじょうぶにするために三角形構造が利用されていることを気づかせる。 (四角形構造の模型に ななめ材を入れる) (壁の中のすじかいの写真) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ じょうぶな構造のしくみについての知識を身につけている。 (知識・理解) ・ じょうぶな構造にするために工夫をすることができる。 (工夫・創造)
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形構造は四角形構造よりもじょうぶな構造になることを確認し、さまざまな箇所に利用されていることを知る。 ・ バルサ材で作成した四角形構造と三角形構造の2種類の鉄橋の模型で強度実験をする。 ・ 本時の感想を書く。 	<p>さまざまな建造物に三角形構造が利用されていることを気づかせる。</p> <p>(校舎の耐震補強の写真) (体育館の天井の写真) (鉄道の鉄橋の写真) (スカイツリーの写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実験を通して、本時の学習目標のじょうぶな構造についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな建造物に三角形構造が利用されていることを理解している。 (知識・理解) ・ 実験に関心を持ち、意欲的に観察しようとしている。 (関心・意欲・態度)

道徳学習指導案

吹田市立古江台小学校

指導者 柚田 真伸

1. 日時 平成29年1月27日(金) 第6時限目(14:30~15:15)

2. 学級 第6学年1組 28名

3. 場所 第6学年1組 教室

4. 主題名 謙虚に広い心をもって 2-(4)寛容

5. 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」

(出典：『私たちの道徳 小学校5・6年 文部科学省』)

6. 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、高学年における内容項目2-(4)「謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること」を深めることを意図したものである。広がりや深まりのある人間関係を築くために必要な、謙虚な心と広い心を持った児童を育てようとする内容項目である。これは、中学校での内容項目2-(5)「それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心を持ち、謙虚に他に学ぶ。」につながっていく。人間は、自分の立場を守るため、つい他人の過ちを非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れられなかったりする。しかし、よりよい人間関係を築くためには、相手の立場や気持ちを考え、異なった意見に対しても、広い心をもって受け入れることが大切である。また、自分自身のいたらなさを目に向け、他人の過ちを許し、相手から学ぼうとする謙虚な姿勢をもつことも大切である。今日解決しなければならない重要な教育課題の一つにいじめの問題がある。いじめをする側の問題として、自分と異なる考えや意見を受け入れられず否定してしまうことや、相手の言動を見て、自分にも同様なことがあるという謙虚さが十分でないことなどが挙げられる。いじめを生まない心や環境を作るためにも、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすることを育てたいと考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、比較的男女性別関係なく仲が良く、授業中は積極的に発言できる児童が多い。また、楽しい雰囲気の中で学習を進めることができ、思いやりを持った関係をつくるようになってきている。グループ学習では、リーダーとしての役割を果たせる児童数名が中心になって進めることができる。

しかし、児童の中には、自分の意見を正しいものとして押し通し、相手の立場や気持ちを無視してしまう児童もある。そのことで、集団とつながることや協調できにくい児童が孤立しつつあることが気になる。素直に協力できる児童もいるが、協力するためには、具体的にどのように行動を起こせばいいのかが分からずいたりする様子が見られる。周りの人の気持ちを考えない軽はずみな行動や逆に自分の思いにこだわりを持っていることから、対立してしまうことも多い。しかし、そこから考えを深めたりはせず、議論をさけ、すぐ相手の考えに合わせてしまう傾向も見られる。

「素直な気持ちで向き合うこと。」「相手の立場に立って考えること。」「ちがう意見を受け止めること。」このような考え方ができることでもっと広い心をもてるので、本時を通して力をつけさせたい。

(3) 資料について

自分こそがサーカス団のスターであると考え、大王を招いての演技の日に、決められた時間を守らず、一人だけ目立とうとするサムに対し、リーダーのピエロは怒りを覚えるが、サムの全力の演技を見て、サムの立場や考えを受け入れ、自分の思いを伝える。サーカスの舞台裏で生じた二人のスターの対立に焦点を当て、自分を大切にしながら相手を尊重していくためには、自他の異なる立場や思いをどのようにとらえることが大切なのかを考えられるように構成されている。互いをライバル視し、相手を受け入れられないでいるピエロとブランコ乗りのサムの関係は、児童にとって興味関心をもって考えられる事象である。サムの言動に腹を立てながら、その頑張りを目の当たりにする場面から、相手の立場や考えに気づきながらもそれを認められないピエロの葛藤を中心として、他者理解や人間理解を深めたい。相手を受け入れることの難しさや大切さを、ピエロとサムが朝まで語り合い、その後すばらしい共演を見せたことから、互いを尊重し合うことのよさを自分自身と

の関わりで考えさせ、自分と異なる意見にも耳を傾け、相手の立場や気持ちを認める態度を育てたい。

7. 本時のねらい

自分と異なった意見を受け止めるピエロの心情を通して、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にす道徳的心情を育てる。

8. 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1. 意見が対立した経験を思い出す。	今まで意見が対立した経験はありますか。	○児童の実体験を思い出させる。
展開	2. 教科書の範読を聞く。 (最初～P8 5L1 1 まで) 3. 登場人物を確認する。	登場人物を確認します。 ・ピエロ…古くからのスター。団員をまとめるリーダー。 ・サム …ブランコ乗り。他国から招かれたスター。 ピエロはサムをどう思っていたのでしょうか。 ・むかついていた。 ・腹立たしい。 ・うっとうしい。 ・サムのせいで目立てない。 サムはピエロをどう思っていたのでしょうか。 ・ロウるさいやつめ。 ・目立ちたがり屋め。 ・自分より下。	(準備物) ワークシート、ピエロサムの絵 ○サーカス団の決まりを守らないサムに対して、リーダーとしての責任感と、それと同時に個人的なサムに対する腹立たしさを押さえない。
	4. 約束を破って空中ブランコを続けたサムを見て怒っている時のピエロの気持ちを考える。	ピエロの怒りとはどんな怒りだったのでしょうか。 ・早く自分も演技したいのに。 ・また一人だけ目立ちやがって。 ・入ったばかりなのにスター気取りするな。 ・やっぱり約束破ったな。 ・何で言うことを聞かないんだ。	
	5. 教科書の範読を聞く。 (P8 5L1 2～最後)		
	6. ピエロの考え方が変わった理由を考える。	ピエロの考え方が変わったのはなぜでしょう。 ・疲れ果てるほどがんばっていたことに気づいたから。	○ピエロがサムの様子を見て、‘腹立たしい奴’→‘手本にする奴’に心が変わった。その心の変化をしっかりと子どもたちと共感する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・目立ちたかっただけではなかったことがわかったから。 ・サーカスを盛り上げるために一生懸命になっていたことに気づいたから。 ・今まで悪いところしか見ていなかったことに気づいたから。 ・サム我真剣な演技が観客を楽しませていたことに気づいたから。 ・自分は嫉妬しかしていなかったことに気づいたから。 ・サムの心がわかったから。 ・サムを手本に努力していこうと思えたから。 ・二人で協力すべきだと思えたから。 ・自分もスターにこだわりすぎていたことに気づいたから。 	
終末	<p>7. 振り返りをする。</p> <p>8. 「私たちの道徳」 P 8 0 ~ P 8 1 を読む。</p>	<p>意見や考え方が対立した時、どのように考えることが大切でしょう。</p>	<p>○「私たちの道徳」を読むことで、授業のまとめを行う。</p>

9. 板書計画

ピエロ 😊

- ・古くからのスター
- ・団員をまとめるリーダー
- ・むかついていた。
- ・腹立たしい。
- ・うっとうしい。
- ・サムのせいで目立ってない。

ピエロの怒りとはどんな怒りだったのでしょうか。

- ・早く自分も演技したいのに。
- ・また一人だけ目立ちやがって。
- ・やっぱり約束破ったな。
- ・何で言うことを聞かないんだ。

サム 😊

- ・ブランコ乗り
- ・他国から招かれたスター
- ・口うるさいやつめ。
- ・目立ちたがり屋め。
- ・自分より下。

サムの演技中の絵

ピエロの考え方が変わったのはなぜでしょう。

- ・疲れ果てるほどがんばっていたことに気づいたから。
- ・今まで悪いところしか見ていなかったことに気づいたから。
- ・サーカスを盛り上げるために一生懸命になっていたことに気づいたから。
- ・自分もスターにこだわりすぎていたことに気づいたから。
- ・サムを手本に努力していこうと思えたから。
- ・自分は嫉妬しかしていなかったことに気づいたから。
- ・二人で協力すべきだと思えたから。
- ・サムを手本に努力していこうと思えたから。

意見や考え方が対立した時、どのように考えることが大切でしょう。

語り合っている絵

- ・素直な気持ちで向き合うこと。
- ・相手の立場に立って考えること。
- ・ちがう意見を受け止めること。

保育指導案

吹田市立古江台幼稚園
ひつじ組 喜田 啓子

日時 平成 28年 6 月 3 日(金) 13:00~13:30
場所 吹田市立古江台幼稚園 保育室
園児数 ひつじ組 5歳児 11名 (男児 6名 女児 5名)
4歳児 7名 (男児 4名 女児 3名) 計 18名

○活動 「カエルの歌で遊ぼう♪」

○ねらい

- ・ジャンプしたり鳴いたり、自分なりのカエルの表現を楽しむ。
 - ・廃材や楽器など必要なものを組み合わせ、鳴らし方を工夫して鳴き声を表現することを楽しむ。
- ⑤
- ・身近なもので、カエルの鳴き声を表現する楽しさを感じる。④

○内容

- ・「カエルの歌」を歌う。
- ・カエルの表現をする。
- ・楽器や廃材などを使って「鳴き声」を表現する。
- ・友達と一緒に鳴らしたり、歌に合わせて鳴らす。

○子どもの様子

(5歳児)

- ・新しいクラスでの生活にも慣れ、少しずつ「クラスの友達」と過ごす時間が増えてきている。どろんこ遊びや、家族ごっこなどを通して友達関係の広がりも見られる。〇〇と一緒に遊びたいという気持ちもでてきている。
- ・個人差は大きいですが、教師の手伝いを積極的にしたり、年中児を気にかけて助けたり、自覚をもって活動している子どもが多い。年長児になったらできる当番活動を喜び、取り組んでいる。
- ・去年の経験から「色水作り」や「どろんこ遊び」を積極的に楽しみ、友達同士イメージを出して遊びを進めようとする姿が見られる。友達がやっていることに興味をもって、参加するようになってきた。
- ・活動や遊びに参加しにくい子どももいるが、友達の誘いや教師の声かけで気持ち良く参加できる場面が増えてきている。
- ・食べることに意欲的で、会食や給食の時間はいきいきと輝いている子どもが多い。

(4歳児)

- ・園生活にも慣れ、教師や年長児の話を聞いて喜んで活動に参加している。初めての活動にも興味をもって自分なりの楽しみ方を見つけたり、友達や年長児と一緒に楽しんでいる姿が見られる。「ひつじ組」の「たまご(年中児)」ということも理解し始めている。
- ・身の周りの始末は個人差が大きく、最後まで声かけが必要だが自分でやろうという気持ちがでてきている。1回経験したことが、積み重なっていく子どもが多い。
- ・自分の好きな遊びを見つけて、友達や教師と一緒に落ち着いて遊んでいる。年長児が取り組んでいる遊びもよく見ていて、すぐに興味をもち、後を追って自分なりに楽しく遊んでいる。

○題材について

- ・保育室で寝転がって遊んでいる子ども達に「おいも（さつまいも）みたい」と教師が声かけをすると、次々「おいも」になって転がる姿が見られた。また、カエルを制作したときに年長児を中心カエルになりきって楽しんでた。今の時期にしかできない自由な表現を、クラス全員で楽しむことができたら良いと考えた。

また、いろいろな歌の楽しみ方、遊び方があって良いことも感じて欲しいと願っている。子ども達の自然な表現を大切にしながら、耳馴染みのある簡単な「カエルの歌」で鳴き声や身体表現を楽しんだりして欲しい。

- ・身の回りの「音探し」を経験し、何気なく聞こえてくる音を「音」として感じたり「〇〇みたいな音がする」と見立てたりする姿も見られる。手にしたものをたたいたり、こすったり、友達と音を合わせたりもしている。見つけた音を種類に分け、年長児を中心に音への興味も広がっている。様々な音を「カエルの鳴き声」に見立て、見つけた音を友達や教師に伝えてほしいと願っている。

○指導の展開

時間	幼児の活動	○援助 ●環境構成	準備物等
12:55		<ul style="list-style-type: none"> ○トイレを済ませておく。 ○●全員が集まるまで楽しく待つようにする。 参加しにくい子ども達には始まる時刻や活動内容を事前に伝え、安心して参加できるようにする。 ●体を動かすことが予想されるので、危険のないように広い場所を用意する。 	
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・集まる。 ・手遊びをする。 ・泳いだり跳ねたりする。 ・「カエルの歌を歌う」 ・ピアノに合わせて歌う。 ・学年ごとに歌う。④→⑤ ・みんなで歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「1ぴきのカエル」の手遊びをし、楽しい雰囲気始める。 ○歌詞は違ってでもいいので、みんなで表現することを大切にする。 ○怒鳴って歌うようであれば気持ち良い声の大きさに気付けるようにする。 ○子ども達の様子を見ながら、カエルの表現がしたくなるような言葉かけや自由に表現する楽しさが感じられるようにする。 ○1人の気付きをクラス全体に広めたり、教師も子ども達と一緒にジャンプしたりして、表現する楽しさを味わえるようにする。 ○友達の取り組んでいる姿を見る機会をもつ。 ○テンポよく進め、友達と一緒に表現する楽しさを味わえるようにする。 	
13:15	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く。 ・鳴いて表現する。 ゲロゲロ、ケケケケッ、 	<ul style="list-style-type: none"> ○なりきっているカエルの世界のまま、話を進める。 ○カエルの鳴き声を「声」で表現し、共通のイメージがもてるようにする。 	

<p>13:25</p>	<p>グワグワッ など。</p> <ul style="list-style-type: none"> •楽器や廃材から「カエル」の鳴き声を考える。 •見つけた「鳴き声」を教師や友達に伝える。 <p>•自由に鳴らす。 •鳴き声で音を出す。 •歌に合わせて鳴らす。</p> <p>○カゴに片付ける。</p> <p>○楽しかったこと、おもしろかったことを言う。</p>	<p>○子ども達が自分で考えたと思えるように話を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●廃材は普段から自由に触れて遊べるようにし環境を整えておく。 ●終わる時刻を伝えて、見通しをもって活動できるようにする。 <p>○自分なりに工夫して楽しんでいる姿を認め、周りの子ども達の刺激となるようにする。</p> <p>○自分の表現したい音が見つけられずに、困っている子どもには、一緒に考えるようにしたり、友達の様子や「音」を紹介したりしてきっかけ作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全員の顔が見えるように丸く座る。 <p>○鳴らすところやタイミングは子ども達に任せるが、心地良いと感じられるように、音を出してみてもう一度子ども達に返しながらかを進める。</p> <p>○見つけた「カエルの鳴き声」は机を用意し、いつでも使えるようにする。</p> <p>○活動を振り返り、次の活動に期待がもてるようにする。</p>	<p>たまごパック 牛乳パック ペットボトルのふた スチレン皿 プリンカップ</p>
<p>13:35</p>	<ul style="list-style-type: none"> •降園準備をする。 <p>名札を外す。 トイレに行く。 帽子、上靴を持ち帰る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●週末であること、自分の持ち物を丁寧に扱うことを確認する。 <p>○待っている時間が楽しいと思えるように歌を歌ったり手遊びをしたりする。</p> <p>○月曜日からどろんこ遊びが始まること、土が運ばれてくることを伝え、期待がもてるようにする。</p>	
<p>13:55</p>	<ul style="list-style-type: none"> •降園する。 	<p>○一人、ひとりと顔を見て挨拶をする。</p>	

◆先生方へ

本時の活動のねらいの達成のために、以下の点を中心に見てください。

- ① 歌ったり、身体表現をしたりして「カエル」になりきって楽しんでいたか。
- ② 「カエルの鳴き声」を探するとき、自分の気付きや思いを友達や教師に伝えようとしていたか。

保 育 指 導 案

吹田市立古江台幼稚園

きりん組担任 中村 みのり

○日 時 平成28年6月28日(火) 13:00～13:30

○場 所 吹田市立古江台幼稚園 きりん組保育室

○園児数 年長児 11名 (男児7名・女児4名)
年中児 8名 (男児4名・女児4名) 計19名

○主活動

「ジグザグおさんぽ」の歌で遊ぼう。

○ねらい

- ・歌詞からイメージした動きを自分なりに身体で表現することを楽しむ。
(5歳児)
- ・自分の表現や思いを友達に伝えようとする。
- ・友達の表現に触れて、イメージを膨らませたり、一緒に表現してみようとしたりする。
(4歳児)
- ・友達と一緒に表現することを楽しむ。

○内容

- ・「ジグザグおさんぽ」の歌をうたう。
- ・1番と2番の歌詞からイメージした動きを表現する。
- ・3番の歌詞を考える。
- ・3番の歌詞からイメージした動きを表現する。

○幼児の姿

(5歳児)

- ・進級した喜びを感じ、年長児になったことへの自信をもっている子どもがいる。また、昨年の年長児の姿を思い出し、当番活動や会食の調理など同じようにしてみたいと意欲的に考えている子どもが多い。
- ・自ら気づいて年中児に声をかけたり手助けをしたりする子どももいる。
- ・好きな遊びの時間には、遊びを見つけることや友達とイメージを共有して遊ぶことが難しい子どももいる。
- ・どろんこ遊びを通して、友達と協力して水を運んだり、川を作ったり、水が流れるよう一緒に試したりする姿が見られるようになってきた。
- ・見つけたことや、してみたいことを教師に伝えに来る子どもが多い。
- ・運動遊びやプール遊びに自信をもっている子どももいれば、自信のなさから挑戦するまでに時間がかかる子どももいる。

- ・自分の意見やアイデアを友達に伝えられる子どももいれば、うまく思いを伝えられなかったり一方的になりトラブルになってしまったりする子どももいる。
- ・友達の前で発言する機会になると、緊張したり、ふざけてしまったりする子どもがいる。

(4歳児)

- ・園生活の流れやきまりがわかり始め、進んで手洗いうがいや、身の回りの始末をする子どもが増えてきた。
- ・好きな遊びの時間には、友達の遊びに興味をもったり、関わりながら遊んだりする姿も見られるようになってきた。
- ・友達の名前を呼びながら朝の挨拶をしたり、まだ登園してきていない友達のことを気かけたりするなど、友達に興味をもっている子どもが多い。
- ・自分の思いをうまく表現できず、泣いたり怒ったりする子どもがいる。
- ・集団生活のきまりが少しずつわかりはじめているが、けじめをつけたり我慢したりすることが難しい子どもや、身の回りの始末に時間がかかる子どももいる。
- ・年長児の遊びや活動をよく見ていて、興味をもち同じようにしてみたいと感じている子どもが多い。

○本時の保育の設定理由について

園の努力目標達成に向け、4月当初から少しずつ音に関する遊びを取り入れてきた。身近な音を見つけたり、その違いを感じたり、音を何かに見立てたりする活動を通して、自分の思いを教師に知らせたり、友達に発表したり、友達の発見を共有したりする機会となっている。子どもたちも、「合奏」など形の決まったものではなく、自由な「音遊び」を楽しみ、発見したことはすぐに教師に知らせに来ている。

そんな中、先日「ジグザグおさんぼ」の歌をうたいながら教師が保育室を歩くと、その後ろを子どもたちが一緒に歩いてきた。歌詞に出てくる『森』や『水たまり』がどのようなものか発問すると、手を木の形にしたり、手をつないで水たまりをつくったりする姿が見られた。

本時の活動を通して、先日の活動をさらに広げ、自分の表現を伝えたり、友達の表現に触れたりしながら、歌詞の世界を表現する楽しさや、いろいろな歌の楽しみ方や、自由な表現があってよいことを感じてほしいと願っている。

自分や友達の表現が重なり合い、1つの曲を表現する楽しさをクラスみんなで共感したいと思い、活動を設定した。

○先生方へ

本時の活動のねらいを達成するために、以下の点を中心に見て下さい。

- ① 歌詞からイメージした自分なりの表現を楽しんでいたか。
- ② 自分の表現を教師や友達に伝えたり、友達の表現を取り入れたりしようとしていたか。

よろしく願いいたします。

時間	幼児の活動	教師の援助・配慮
12:55	<ul style="list-style-type: none"> ○裸足になる。 ・靴下をカゴの前に置く。 ・上靴をロッカー前に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○排泄を済ませておく。 ○体を動かすことが予想されるので、危険のないよう広い場所を用意しておく。 ○安全に活動できるよう裸足になることを知らせる。
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ○「ストップアンドゴー」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ピアノの音に合わせて歩いたり、表現したりする楽しさが感じられるよういろいろな速度や音でピアノを弾く。 ○落ち着いて活動を始められるよう、最後はゆっくりの速度で終える。
13:05	<ul style="list-style-type: none"> ○ピンクの線に並ぶ。 ○「ジグザグおさんぽ」の歌をうたう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気持ちの良い声で歌っている子どもの姿を認める。 ○子ども達の様子を見ながら、先日の表現を思い出せるような言葉がけをする。
13:10	<ul style="list-style-type: none"> ○1番と2番を歌に合わせて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○先日の表現を思い出したり、楽しんで表現している姿を認めたり、教師も一緒に表現を楽しんだりする。 ○参加することが難しい子どもは、そばに寄り添い一緒に表現する。
13:10	<ul style="list-style-type: none"> ○3番の歌詞を考える。 ・教師の近くに集まって座る。 ・3番の歌詞を考えて発言する。 ・実際に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○さらに表現が広まるよう3番の歌詞を考えてみることを提案する。 ○意見を共有できるよう、ホワイトボードに絵や字で示していく。 ○歌詞からイメージした表現をしようとしている子どもの姿を認めたり、紹介したりする。 ○活動に戸惑う子どもは、教師と一緒に表現を考えたり、一緒に発表したりする。 ○それぞれの表現を認めたり、みんなで一緒にしてみようことを提案したりする。 ○友達と一緒に表現している姿があれば、クラス全体に広がるよう、認めたり、紹介したりする。
13:25	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を通して感じたことを伝え合う場を設ける。 ○友達に聞こえるように話したり、友達の顔を見て話をきいたりできるよう必要に応じて声をかける。 ○次の活動に期待がもてるように話をする。

事務連携部

H28年度「幼保小中一貫教育における事務職員の役割」

古中ブロック事務連携部は、平成18年度にスタートし、11年が経過しました。

今年度も津雲小1名、古小1名、古中1名の3名で活動しました。事務連携部では、下記のように、推進委員会を含めた幼保小中一貫教育活動の連絡・調整・記録・発信（周知）などの役割を担っています。また、推進委員会の前に事務連携部会を開き、直接顔を合わせ話し合い、方向性を決める中で3校の学校事務効率化を図ること、業務の相互支援を行っています。

■ 推進委員会内の役割

- ①月1回定例開催されている推進委員会の会議録を「ジョイント+++プラス」として作成し、会議内容を中学校ブロックの全教職員で共有できるようにした。
- ②中学校ブロックの全教職員で参加する夏季・冬季合同研修会の案内作成、連絡、準備、受付、記録などを担当し、保存用資料として残した。また、夏季・冬季合同研修会を含む活動内容を学期ごとに「JOINT」として作成・周知するための連絡・調整などを行った。
- ③「研究報告集」の編集印刷作成を担当、保存用資料として残した。
- ④ブロック小中一貫教育推進事業予算会計を担当した。

■ 職務に関わる連携（「事務連携部会」での内容）

- ①ブロック推進委員会での会議内容を確認し、役割分担を行った。
- ②財務会計や教科書の新しいシステムに関することについて情報交換・意見交流し、適正な事務処理の共通認識を図った。
- ③市や府の監査での確認項目をもとに情報交換し、お互いの事務支援につなげた。
- ④事務・学校運営に関わる校内体制について情報交換・意見交流し、効果的な運営などの共通認識を図った。
- ⑤中学校の入学説明会・入学に向けて、小学校名簿データの提供や内容の交流などを実施し、スムーズな入学準備につなげた。
- ⑥幼保小中一貫教育推進につながる事務連携を模索した。

取組の継続として、研究授業や合同研修会、「言語力育成モデル」の見直しなど、ブロックとしての幼保小中一貫教育推進のための活動に関わることができました。また、古中ブロックのホームページのデータ更新も昨年度に引き続き随時行ってきました。今後とも内容の作成や更新作業において事務連携として関わりを持つように考えています。

今年度は吹田市教育研究報告会において、「古中ブロックの幼保小中一貫教育の取組について」の実践報告を行いました。事務連携が、各校の管理職の理解のもと、各校の校務分掌に事務職員が位置づいているとともに、連携組織の中での位置づけがあり、参画することで、幼保小中一貫教育の取組推進の一役を担うことができているのだと思います。今後も、幼保小中一貫教育推進、ブロック共通テーマにつながる活動、各校の学校経営・学校事務の充実につながる活動を行います。

(言葉での思考の深め方)

幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために

内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○体験の中で様々な言葉を知っている	○自分で使える言葉をもっている	○意図・目的にそった説明する言葉を持っている	○各教科の専門用語を理解し、課題を発見し、自ら課題を解決していく言葉を持っている
具体的な 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な言葉がわかる 絵本や物語などに親しみ、先生や友だちと心を通わせる 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習の中で必要な言葉が理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや思いを言葉にすることができる 教科特有の言葉について理解することができる 事象に対する考えについて教科の言葉を使って説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向のやり取りを行なうための言葉を持っている 教科特有の用語について理解することができる 事象に対する考えについて教科の言葉を使って説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 議論して、問題解決するための言語を持っている 各教科の専門用語について理解することができる 論理的に分析・評価する言語を持っている
大切にしていくこと (主体は指導者)	*一人ひとりの子どもの思いをじっくりと聞く	*豊かな言葉に触れさせ、正しい言葉よい言葉を見つけさせるようにする	*言葉を意識して使えるように指導する *気持ち伝わるように書かせる	*わからない言葉をそのままにしないように指導する	*各教科の専門用語や単語を理解させ、学力の土台として定着させる
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> 教師の話や話を聞く 絵本や物語の読み聞かせ 集団遊びをする中で、ルールを話し合う 描いたり、制作をする 歌を歌ったり、合奏を経験する 楽器の名前を覚える 	<ul style="list-style-type: none"> 読書 音読 暗唱 視写 聴写 観察カード 絵本の読み聞かせ 言葉集めゲーム 豊かな言葉を取り上げ、評価 感情表現する言葉 教科の用語や定義を知る 既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく 用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する 聞き名人のルールを意識させる 感想の言葉カード 手遊び しりとり ふわふわことば 気持ちカードの使用 伝言ゲーム 「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識 イメージマップの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 読書 音読 暗唱(話す・聞くスキルを使って) 「言葉のポケットノート」を作り、国語に限らず読書や他教科で出てきた言葉の意味を調べて記録していく ゲーム要素を取り入れて辞書引きに慣れる 国語の各単元の学習計画に「意味調べ」を入れ、語彙を増やしていく 「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識して、文章(物語文、説明文、感想文)が書けるようなワークシートを作成する 漢字やローマ字の反復練習をする 音読を通して言葉の発音、言い回しに慣れる 音読名人のルールを意識させる 朗読を通して言葉を音で覚える 教科の用語や定義を知る 算数、理科で、用語を用いて記述することを意識させる 既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく 用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する 聞き名人のルールを意識させる 自分だけの国語辞典を作る 音読対決 音読発表会 国語辞典(赤線・ふせん)の活用 ことわざ、故事成語ブックを作り語彙力を増やす 詩の指導を通して擬態語、擬声語を考える 読書「5000ページの旅」を設定し読書を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 読書 音読 暗唱 「言葉ファイル」の活用 短文づくり 音読(音読対決) 暗唱 辞書活用 (国・社では、特に使用→授業時、机に置いておき、即活用) 「言葉の宝箱」を活用し、言葉の意味や表現技法を学ぶ 教科の用語や定義を知る 既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく 用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する 聞き名人のルールを意識させる 日記指導 言葉の言い換え 短文・俳句づくり 俳句や物語文の暗唱、朗読 辞書引きの宿題を定期的に出す 	<ul style="list-style-type: none"> 【国語】 辞書・便覧・読書・新聞・音読・コミュニケーション 自分が知らない言葉に積極的に触れる 文章全体を対象とした課題を工夫する表現や構造にもこだわる 評価したり、批評したりしながら読む「しかけ」に工夫しながら、読みを深める 文章全体の表現や構造に注目する 評価したり、批評したりしながら思考し、読みを深める 「書くこと」によってまとめたり、発信したりする学習スタイルを常態化する 【社会】 社会的事項の語句を学習する グラフや写真などの資料から読みとれることをまとめる 【数学】 用語の意味の確認を数多く行う 多様なテキスト(式・表・図・グラフなど)で問題を提示する 系統立てた反復により基礎・基本の定着を図る 記述を求めず、口頭で説明させる 【理科】 教科書やワークシートの音読をしっかりとさせる なぜそうなるのかという問いかけを大切に 理料的な言葉で説明させる 大切な用語等はクラス全員で発音する 体験活動の充実;観察・実験や様々なコンテンツから自然現象についての情報を受信する機会を充実する 【音楽】 自ら感じたことや自分なりに解釈したことを言葉に表す 音楽を形づくっている要素や構造を理解する 【美術】 色・構造・色彩;言葉に置き換えて伝えあう 【技術・家庭】 自分の考えや感想を書き、グループで発表し合い、交流する 技術科;実践的・体験的な学習活動により、実感を伴って語彙の意味を理解して習得させる 家庭科;体験と言葉をつなぐ、実体験し言葉の意味を理解する体験したことを言葉で振り返る 【保健体育】 作戦会議等コミュニケーションを増やす 各種目の専門用語を覚える 技術、戦略、ルールなどへの理解 健康・安全に対する理解と配慮 勤や直感、経験に基づく知恵の獲得 【英語】 授業で習った表現を繰り返し練習し、小テストなどで定着を図り、語彙力を高める 4技能をバランスよく取り入れる(ルーティンワークとも関連づける) ペア、グループワークを通し、コミュニケーション能力を育成する
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友だちと一緒に行動したり、やりとりをしたりすることを通して、次第に日常生活に必要な言葉がわかるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中、発表するときの言葉のパリエーションが増えてきている 	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉のポケットノート」の自分の調べた言葉の意味を繰り返し見て言葉の意味を知ることが増えた 毎日の音読学習で物語文を暗唱できる児童も増えてきた 行事ことの作文に、自分の気持ちが伝わるように書くことができるようになってきた 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい言葉を知る、手にすることに対する意欲向上がみられる 分からない言葉がなくなることで、文章内容の理解がしやすくなった 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ喜びを体験することによる生涯にわたって学んでいこうとする態度を育成する

(言葉での思考の深め方)		幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために			
内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○型に沿った表現をすることができる	○自分の考えを伝えるために表現することができる	○目的や相手を意識して表現をすることができる	○体験から感じ取ったことを表現することができる ○事実を正確に理解し伝達することができる ○概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用することができる
具体的な 子どもの姿	・生活の中で必要な言葉を使うことができる	・表現方法をまねて、自分や身近な人やものに置き換えることができる	・自分の考えや意見にあった言葉を探して表現することができる	・目的にあわせて効果的に表現できる	・友だちの意見を聞いて、自分の考えをまとめる表現することができる ・議論することができる
大切にしていこうこと (主体は指導者)	*一人ひとりの子どもに応じた言葉がけをする	*基本の型を身につけられるようにすること	*言葉に立ち止まって考える時間を設定する *考えをはっきり伝えるために表現する *文章の組み立てを考えさせる *筋道を立てて考えさせる	*発表や表現の機会を多く提供する *多くの文章を継続的に声に出して読むことで、さまざまな表現方法を身につけられるようにする *効果的に書くためのモデル(型)を提示する *教え合いの機会を多く提供する	*学習した専門用語を用いて、「書く」「話す」などの表現活動をする *表現活動には一定の「型」を示し、パターン化した練習を取り入れる
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする 「入れて」「貸して」「いいよ」等の遊びの中で必要な言葉を使う 歌の歌詞の意味を知る じゃんけんをする 描いたものや制作したものの説明をする 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字学習での文作り 日記 スピーチ 対話 グループでの話し合い 言葉あそび(クイズ) 教科書の手引きにそった言葉の活用 言葉、式、図を使って、自分の考えを伝える 文章題の問題文を子どもたちに作らせる 教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う 発表がんばりカードを活用する 話し名人のルールを意識させる 話し合いのルールを意識させる 体験したことや学んだことを他学年に伝える 図工の作品鑑賞で感想を伝え合う 「はじめに」「つぎに」など、文章の言い方(話型)を提示する 質問、感想を述べる。メモをとる。一行日記。 「はじめ」「中」「おわり」を意識したお話づくり 音読劇やオペレッタへの発展 本を紹介するリーフレットづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 「書く」の領域を利用して接続詞や文末表現を身につける 日記 教科書の「言葉のちから」を意識して学習し、学んだ「言葉」を教師に提示し、いつでもその言葉がつかえるようにする 発表の際、算数用語を使い、自分の考えを伝える 算数用語を意識させる 教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う 発表がんばりカードを活用する 話し名人のルールを意識させる 話し合いのルールを意識させる 文の組み立てを考える 体験したことや学んだことを他学年に伝える 作文のための文の組み立てを考えるワークシートを作成し冊子に綴じ常にそれを参考にして作文が書けるようにする 定期的に生活作文を書いて、「自分の考え」を常に意識する お礼の手紙で相手意識・目的意識をもたせる 体験活動のふり返り・記録を文章でまとめる 異学年間で調べたことなどの伝え合いの機会を設ける 授業のふり返りを書かせる 本の紹介カードづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 国語の教科書にある手引き「言葉の使い方」を資料としてまとめて配布 「書き方マニュアル」を作成し、配布 文章の書き方としての様々な技法を配布し、例文をもとに練習問題に取り組み 資料を活用した文章を型を参考にしながら書く 多様な解き方を考え、まとめたり、発表させたりする 解決の仕方を全体に伝える 隣同士やグループでの教え合い学習で、友だち同士教え合う 友だちの考えを伝えさせる 教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う 発表がんばりカードを活用する 話し名人のルールを意識させる 話し合いのルールを意識させる 報告会、伝え合いの会等で、体験したことや学んだこと、調べたこと、自分の意見を他学年に伝える場を持つ 日記指導 既習事項をまとめた「表現ヒントファイル」を作成し活用する 話し合い活動において、司会カードを活用させる 	<ul style="list-style-type: none"> 【国語】 <ul style="list-style-type: none"> 発表したり書いたりする機会を増やす 論理的に展開するために「まず」「次に」など順序立てる言葉を用いる 小グループで話し合う場面を設定し、考えを交流・共有できるように工夫する プレゼンテーションの機会を多くする 【社会】 <ul style="list-style-type: none"> テストや練習問題で記述問題に取り組む 表現の仕方、レポートのまとめ方 【数学】 <ul style="list-style-type: none"> 基本的パターンの練習 説明の中で、繰り返し重要な言葉を使う 何を根拠としているかを明確にしなが話しを進める 日常生活と関連つけた問題場面を提示する 発展的学習を充実させるために教材を精選する 【理科】 <ul style="list-style-type: none"> 筋道を立てる 言語活動(記録・要約・説明・論述・討論・発表など)を充実する レポートなどに「理学的な言葉」を使って作成する 【音楽】 <ul style="list-style-type: none"> 音楽が形づくっている要素や構造などを理由としてあげながら音楽のよさや美しさについて述べ、自分にとっての価値を明らかにする 【美術】 <ul style="list-style-type: none"> 色・構造・色彩をいかした表現活動 【技術・家庭】 <ul style="list-style-type: none"> グループで話し合ったことをまとめて、分かりやすく発表する 技術科:言語を活用し、理解の解決をめざす 家庭科:相手に合わせたコミュニケーションを思考し、実践する 【保健体育】 <ul style="list-style-type: none"> 専門用語を使って表現する ダンス等で計画表を作成する(課題解決に向けての検討) 資質・能力の向上(自分の状況にあてはめて活用する) 【英語】 <ul style="list-style-type: none"> 習った単語や文法を使い、ペアワークやパターンプラクティスで定着させる ICTを積極的に取り入れることで、学習事項の理解を深める 伝えたいこと、話したいことを実生活に即した形で表現する
期待される成果	・絵本を見たり、物語を聞いたりして楽しみ、そこで想像上の世界に出会い、様々な思いを巡らし、その思いなどを教師や友だちと共有したりする	・相手に伝わるように言葉を選んで発表できるようになる ・基本の形にそった文章を書くことができる	・教室提示によって、つねに意識してその言葉を使おうとする児童が増え、他教科では学んだ言葉を使って発表することができていた ・考えたことを順序立てて文章にすることができるようになった	・学んだことを活用し、文章化することへの抵抗が減ってきている ・「～から分かるように」「資料～は、～を表したものです」などの言葉を活用しながら自分で文章が書けた	・コミュニケーション活動の重要視により、互いに問題を共有しあい、互いが生きていくことの重要性を感じる態度を育成する ・自己理解のための活動の重視、社会生活との関わりの中で、自分の生き方を考える力を育成する

言葉の増やし方
習得(知識・技能)



言葉の使い方(運用)
活用(表現・言語活動)



言葉での思考の深め方
探究(活用・思考力・判断力・表現力)

(言葉での思考の深め方)

幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために

内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○気づきや感想、考えを伝え合うことができる	○根拠をもとに自分の考えを伝え合うことができる	○自分の立場を明確にし、他者の考えと比較しながら、自分の考えを伝え合うことができる	○課題について、構想を立て実践し、評価・改善することができる ○互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させることができる
具体的な子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉にすることができる 友だちの話しに興味を持って聞き、共感することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気づきや感想、考えを伝え合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠をもとに自分の考えを伝え合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場に明確にすることができる 意見交流を通して、視野をひろげることができる さまざまな意見を踏まえた上で、自分の考えを深めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 考え、判断し問題解決に導くことができる
大切にしていくこと (主体は指導者)	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとかかわりをとらえ、それに応じた言葉かけをし、言葉を交わす喜びを味わえるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を使って思いや考えを説明する場面を設定する 「わかい」を視点に、選択させる 「わかりやすい、かんたん、いつでもできる」 	<ul style="list-style-type: none"> 場面に対して、ふさわしい言葉を用いながら自分の考えを説明させる 言葉はおもしろいと思うこと、言葉を好きになること、よりふさわしい言葉を使おうとすることを意識する 「わかい」を視点に、考えを整理する 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の考えと自分の考えを比較し、共通点、相違点を理解させるようにする 他者の意見をもとに自分の意見を深める、個の振り返りの時間を大事にする 「わかい」を視点に、考えを修練する 	<ul style="list-style-type: none"> まとめたり、比較したり、評価したり、言葉を用いた活動を通して思考力を深める 思考スキルを活用する(シンキングツールの活用)
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> じゃんけんや勝ち負けを認識する 集団遊びをする中で敵や味方を認識し、友だちとの関わりをもつ グループ活動で話し合う グループ活動で伝え合う 自分の思いを絵や制作物で表現し、教師や友だちを伝えることができるようになる 楽器の扱い方について相談する いい声で歌うことの大切さに気付く 絵本や物語のお話の世界を楽しみ、劇あそびをする 	<ul style="list-style-type: none"> 気づきや考え方、感想等を書く 式、絵、表を言葉で説明する 考えの理由になることをはっきりさせ、説明する イメージ化させやすい身近な題材を提示する 友だちの考えと自分の考えを比べながら聞く スピーチカードや話型を提示する 言語を動作化させる 五感を意識させたカードを使う 想像に合った言葉を使い、物語を書く グループでの発表、お互いに評価し合う、自己評価・相互評価 ペアで交流、班で交流、クラスで交流などの形態をとりながら相手にわかる説明をすることで自分の思考を整理する 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生、4年生で学ぶ、紹介文、記録文、生活感想文、案内文、調査報告文、広告等の説明文、身のまわりのニュースなどで用途に合わせた言葉を使って文を書く 書いた分を友だちと読み合い、感想を出し合う 考えの理由になることをはっきりさせ、説明する イメージ化させやすい身近な題材を提示する 友だちの考えと自分の考えを比較しながら話し合う ミニ討論会 各教科の中でキーワードを使った学習のまとめを書き、伝え合う 場面に応じた言葉に、折にふれ直させる話し言葉と書き言葉の違いをはっきりさせる 二人で交流、班で交流、クラスで交流などの形態をとりながら相手にわかる説明をすることで自分の思考を整理する 図工の鑑賞において、絵の特徴を言葉で表現し、伝え合う 	<ul style="list-style-type: none"> パネル討論 算数などで考え方を言葉で書く 各教科で学習のまとめや感想を継続的に書く 考えの根拠になることをはっきりさせ、説明する イメージ化させやすい身近な題材を提示する 友だちの考えと自分の考えを比較しながら話し合い、自分の考えを深める クラス交流で指名なし発表を取り入れる。自分の意見とほかの人の意見を比べながら聞き、自分の立場を明確にして相手に伝えるように意識する 作文を書く前に、イメージマップを書き、そこから書きたい事柄を選んだり膨らませたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 【国語】 2つ以上のものを比較して共通点や相違点を見つける 文学的文章において、多様な視点や観点に立って、既習事項を用いて課題問題を解決する 要旨をとらえ、自分の考えを深める 【社会】 レポート力、ノートなどのまとめ力の育成、調べ学習 自己評価する 深い探究に結びつく活用の授業を重視 【数学】 式が何を表しているかを考える なぜ答えがそつなるかを考える 考え方を何人かで相談し、説明する 考えたことをレポートにまとめる機会を多く設ける 相互評価することで、生徒同士が互いに高めあうようにする 【理科】 実験の結果を班で話し合い発表する 活用の展開；知識や技能を活用する学習活動やパフォーマンス課題を導入する 振り返り；自己評価表(ポートフォリオ評価)を導入する 【音楽】 自ら感じたことや自分なりに解釈したことを基に話し合い、他者の感じ方や解釈も参考にして、より深く音楽を鑑賞する 【美術】 論じ合い、感受性を高める鑑賞活動 【技術・家庭】 他者の発表を聞き、自分の考えと比較して、見直し思考を深める 技術科；(個→集団→個)の学習活動の流れにより、「工夫し創造」や「読解力」を育成する 家庭科；情緒・完成を磨く言語活動 【保健体育】 計画表を作成する 演技(動き)を言葉で表現しレポートを作成する 自己評価⇄相互評価 発表(説明)→振り返り 【英語】 学習した表現や文法を使い、テーマに沿った自分の考えを英語で発表する 英文を読むことによって、異文化に関する理解を深める 自己評価・相互評価の導入
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> 言葉に対する感覚を養い、状況に応じた適切な言葉の表現を使うことができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの考えを書くようになってきた 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの文章の中から学んだ言葉を探したり、接続詞の多用が減ってきて、適切な接続詞も増えてきた 	<ul style="list-style-type: none"> 書く意欲が高まり、自分の考えを整理し、深めることにつながっている 事実(学習内容)と自分の考えを分けて、わかりやすく書けるようになった 理由を付けて自分の考えを書けるようになった 抽象的な内容ではなく、具体的に書けるようになってきた 	<ul style="list-style-type: none"> 文章や図表、現象などを理解・評価しながら捉える力や自分の考えをまとめる力を育成する 自分なりに課題を発見、自らの課題を解決していく態度と能力を育成する

国語力向上のための 「古江台中学校ブロック」スタンダード

国語力の向上につい長瑠用に全教科・全領域において目標と場面を設定し実践していく
個々にとりくんだ実践は、全教職員で共有し検証・発展させていく。

1. 読む力の育成

- ・ 選定された古中ブロック100冊の本を9年間で読ませる。

2. 聞く力の育成

- ・ 相手の話をよく聞いてから、自分が話をするようにするなど会話のマナーを身につけさせる。(『議論のルール』を別に定める。)
- ・ 教師はていねいな言葉使いをする。

3. 話す力の育成

- ・ 授業や生活の中で、単語ではなく文章で話しをさせる。
- ・ どの児童・生徒にも発表の機会を与える。
- ・ 教師や保護者は子どもの話をよく聞くようにつとめる。

4. 書く力の育成

- ・ 読み手にわかりやすい文章を書かせる。
- ・ 日記、班ノートなどの日常的に書く機会を与える。
- ・ 授業の中で、シンキングツールやワークシートを用いて文章を書く工夫をさせる。
- ・ 教師は子どもの作文にはコメントをつけて、書く意欲をもたせる。

5. 漢字力の育成

- ・ 指導法の工夫と改善をすることで、漢字力の定着をはかる。

『議論のルール』

低学年

- ①話を聞くときは、話しをしている人の方を見る。
- ②話を聞くときは、最後まできちんと聞く。

中学年

- ①分からないことがあったら、すぐに質問する。
- ②話を聞くときは、話している人の方を見る。
- ③話を聞くときは、他のことをしない。
- ④最後まで、きちんと話を聞く。
- ⑤どのような意見であっても間違いと決めつけない。

高学年

- ①他人の発言をさえぎらない。
- ②話す時は、だらだらとしゃべらない。
- ③話す時に、おこつたりないたりしない。
- ④分からないことがあったら、すぐに質問する。
- ⑤話を聞く時は、話している人の方を見る。
- ⑥話を聞く時は、他のことをしない。
- ⑦最後まで、きちんと話を聞く。
- ⑧議論がだいなしになるようなことを言わない。
- ⑨どのような意見であっても、間違いと決めつけない。
- ⑩議論が終わったら、議論の内容の話はしない。

中学生

- ①話す内容を整理して（メモをとるなど）から話す。
- ②建設的、協調的な発言をこころがける。
- ③誰でもが自由に発言できる雰囲気をつくる。

児童・生徒指導連携部会

○平成28年6月22日（水） 児童・生徒指導交流会

古江台・津雲台両小学校から進学した中学1年生の様子について、情報交換をしました。

○平成29年3月23日（木） 児童・生徒指導連絡会

古江台・津雲台両小学校6年担任より、中学校へ進学する児童についての情報を伝えました。

基本的な学校生活習慣として「ABC運動」を指導しています。

ABC運動

- | | | |
|---|------|-----------------|
| A | あいさつ | （コミュニケーションの第一歩） |
| B | ベル着 | （時間を守る） |
| C | クリーン | （学習できる環境づくり） |

教師が大切にしなければならぬもの・大切にしていきたいこととして、「授業規律の教師心構え9ヶ条」を推進しています。

授業規律の教師心構え9ヶ条

- | | |
|---|---------------------|
| ① | チャイム着席の指導 |
| ② | 授業の始めと終わりの「けじめ」をつける |
| ③ | 机の整理整頓の指導 |
| ④ | 名前を呼んだときの返事の励行 |
| ⑤ | 勝手に立ち歩かせない |
| ⑥ | 意見があるときは手を挙げて発言させる |
| ⑦ | 忘れ物をしない指導 |
| ⑧ | 正しい言葉遣いの指導 |
| ⑨ | 使用した物の後片付けの指導 |

古中フロック100冊の本 No. ①

(平成20～25年度)

小学校版 60冊

小学校 (低学年)		小学校 (中学年)		小学校 (高学年)	
書名	著者名	書名	著者名	書名	著者名
1 14ひきのシリーズ	いわむらかずお	1 二ちょうめのおぼけやしき	木暮正夫	1 アンネの日記	アンネ・フランク
2 あかちゃんてね	星川ひろ子	2 大どろぼうおツエブ ロツ	ワットフリード・ポロイスター	2 ガラスのうさぎ	高木敏子
3 エルマの冒険	ルス・スタイルス・ガネット	3 おしいれのぼうけん	古田足日	3 消えた国旗	斉藤尚子
4 王さまと九人のきょうだい	中国民話	4 かいぞくポケットシリーズ	寺村輝夫	4 木を植えた男	ジャン・ジオノ
5 おさるはおさる	いとうひろし	5 かわいそうなぞう	土家由岐雄	5 銀河鉄道の夜	宮沢賢治
6 おれはティラノザウルスだシリーズ	宮西達也	6 霧のむこうのふしぎな町	柏葉幸子	6 銀のほのおの国	神沢利子
7 からすのパンやさん	かこさとし	7 くまのパデイントン	マイケル・ホルト	7 五体不満足	乙武洋匡
8 くまの子ウーフシリーズ	神沢利子	8 車のいろは空のいろ	あまんきみこ	8 西遊記	渡辺仙州
9 ぐりとぐらシリーズ	中川李枝子	9 こそあどの森シリーズ	岡田淳	9 三国志 1～5巻	三田村信行
10 ごんぎつね	新美南吉	10 シートン動物記		10 砂のゲーム	ウーリー・オルレブ
11 さっちゃんのまほうのて	田畑精一	11 せかいいちうつくしいぼくの村	小林豊	11 精霊の守り人	上橋菜穂子
12 すてきな三人ぐみ	トミー・アンゲラー	12 ちいさいおうち	バージニア・パートン	12 世界がもし100人の村だったら	池田香代子
13 ちからたろう	いまえよしもと	13 ちいさなスプーンおばさん	アルフ・プロイセン	13 チョコレート工場の秘密	ロアルド・ダール
14 とべバツタ	田島征三	14 ちびっこカムのぼうけん	神沢利子	14 ナルニア国物語シリーズ	C・S・Lewis
15 ともだちや	内田麟太郎	15 とべないホテル	小沢昭巳	15 二分間の冒険	岡田淳
16 にじいろのさかな	マークス・フィスター	16 ふしぎなかぎばあさん	手島悠助	16 葉っぱのフレディ	レオ・バスカリア
17 はらぺこあおむし	エリック・カール	17 目をさませトラゴロウ	小沢昭巳	17 走れメロス	太宰治
18 ひろしまのピカ	丸木俊	18 ももいろのきりん	中川李枝子	18 ヘレンケラー	
19 ぼくは王さまシリーズ	寺村輝夫	19 やかまし村の子どもたち	アストリッド・リンドグレーン	19 モモ	ミヒヤエル・エンデ
20 モチモチの木	斎藤隆介	20 わたしたちのトビアス	セリア・スバドベリ編	20 ユンボギの日記	

中学校版 40冊

書名	著者名	書名	著者名	書名	著者名
1 のはらのうた (シリーズ)	工藤 直子	15 そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか	齋藤 孝	29 ハムレット、ロミオとジュリエット、など (シリーズ)	シェイクスピア
2 茨木のり子詩集	茨木のり子	16 モンテ クリスト伯	アレクサンドル・デュマ	30 宝島	スチブンソン
3 にんげんだもの	相田みつを	17 いま生きているという冒険	石川 直樹	31 長靴下のピッピー	リンドグレーン
4 坊ちゃん、三四郎、こころ、我が輩は猫であるなど	夏目 漱石	18 リュパン対ホームズ	モーリス・ルブラン	32 クリスマスキャロル	ディケンズ
5 杜子春、蜘蛛の糸、など	芥川龍之介	19 ぼくは勉強ができない	山田 詠美	33 星座を見つけよう	HALI
6 幸福な食卓	瀬尾まいこ	20 星の王子さま	サンテグジュペリ	34 スノーピーはふつうの犬じゃない	シュルツ
7 二十四の瞳	壺井 栄	21 カモメに飛ぶことを教えた猫	河野万里子	35 龍馬がゆく、項羽と劉邦、など (シリーズ)	司馬遼太郎
8 しろばんば	井上 靖	22 もしも月がなかったら	ニール・F・カミングス	36 ぼくらはガリレオ	板倉聖宣
9 伊豆の踊子	川端 康成	23 大地	パールバック	37 数の悪魔：算数・数学が楽しくなる12夜	エンツェンスベルガー
10 夜のピクニック	恩田 陸	24 大地の子	山崎豊子	38 君の可能性	齋藤喜博
11 キッチン	吉本ばなな	25 赤毛のアン、など	モンゴメリ	39 君たちはどう生きるか	吉野源三郎
12 夏の庭	湯本香樹美	26 十五少年漂流記、など	ヘルヌ	40 生きることの意味	高史明
13 ポッコちゃん	星 新一	27 若草物語	オールcott		
14 サラダ記念日	俵 万智	28 エミールと探偵たち	ケストナー		

古中フロック100冊の本 No. ②

(平成26年度～)

小学校版 60冊

小学校 (低学年)		小学校 (中学年)		小学校 (高学年)	
書名	著者名	書名	著者名	書名	著者名
1 王様と九人のきょうだい	君島 久子 再話	1 大どろぼうホッツエンプロッツ	オットフリート・プロイスラー	1 アンネの日記	アンネ・フランク
2 おれはティラノサウルスだシリーズ	宮西 達也	2 ちいさいおうち	バージニア・バートン	2 五体不満足	乙武 洋匡
3 ともだちや	内田 麟太郎	3 ちいさなスプーンおばさん	アルフ・ブリョイセン	3 二分間の冒険	岡田 淳
4 にじいろのさかな	マーカス・フィスター	4 エルマーの冒険	ルース・スタイルス・ガネット	4 葉っぱのフレディ	レオ・バスカーリア
5 ふたりはともだちシリーズ	アーノルド・ローベル	5 びりっかすの神さま	岡田 淳	5 走れメロス	太宰 治
6 いいからいいから	長谷川 義史	6 龍の子太郎	松谷 みよ子	6 モモ	ミヒヤエル・エンデ
7 すてきな三人ぐみ	トミー・アンゲラー	7 ルドフルとイッパイアッテナ シリーズ	斎藤 洋	7 きまぐれロボット	星 新一
8 あらしのよるに	木村 裕一	8 モチモチの木	斎藤 隆介	8 ぼくらの七日間戦争	宗田 理
9 れいぞうこのなつやすみシリーズ	村上 しいこ	9 名探偵シリーズ	杉山 亮	9 世界がもし100人の村だったら	池田 香代子
10 おこだでませんように	くすのき しげのり	10 もったいないばあさんと考えよう 世界のこと	真珠 まりこ	10 100万回生きたねこ	佐野 洋子
11 ひろしまのピカ	丸木 俊	11 菜の子先生がやってきた	富安 陽子	11 すみれ島	今西 祐行
12 あのときすきになったよ	薫 くみこ	12 ムジナ探偵局シリーズ	富安 陽子	12 わすれられないおくりもの	スーザン・パーレイ
13 平和ってどんなこと?	浜田 桂子	13 蜘蛛の糸	芥川 龍之介	13 銀河鉄道の夜	宮沢 賢治
14 てぶくろをかいに	新美 南吉	14 大きな森の小さな家	ローラ・インガルス	14 ストライプ	ディヴィッド・シャノン
15 としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン	15 車のいろは空のいろ	あまん きみこ	15 チョコレート工場の秘密	ロアルド・ダール
16 うしはどこでもモー	エレン・ワインスティーン	16 ふしぎなかぎばあさん	手島 悠介	16 ナルニア国物語	C・Sルイス
17 スイミー	レオ・レオニ	17 ロバのシルベスターとまほうの小石	ウィリアム・スタイグ	17 ヘレンケラー	
18 わたしはあかねこ	サトシン	18 わたしのいもうと	松谷 みよ子	18 合言葉はフレンドル!	アンドリュー・クレメンツ
19 ええところ	くすのき しげのり	19 こぎつねコンとこだぬきポン	松野 正子	19 宇宙をみたよ!	毛利 衛
20 へんてこもりのなまえもんシリーズ	たかどの ほうこ	20 はれときどきぶた シリーズ	矢玉 四郎	20 トイレのおかげ	森枝 雄司

中学校版 40冊

書名	著者名	書名	著者名	書名	著者名
1 西の魔女が死んだ	梨木 香歩	15 シャーロック・ホームズの冒険	コナン・ドイル	29 星座を見つけよう	H A レイ
2 のはらうた (シリーズ)	工藤 直子	16 下町ロケット	池井戸 潤	30 風が強く吹いている	三浦 しをん
3 茨木のり子詩集	茨木 のり子	17 少年H	妹尾 河童	31 もしも月がなかったら	ニール F カミングス
4 永遠の0	百田 尚樹	18 クリスマスキャロル	ディケンズ	32 数の悪魔	エンヴェンズベルガー
5 大地	パールバック	19 龍馬がゆく、項羽と劉邦	司馬 遼太郎	33 ぼくらはガリレオ	板倉 聖宣
6 大地の子	山崎 豊子	20 十五少年漂流記	ベルヌ	34 14歳からの哲学、14歳の君へ	池田 晶子
7 夏の庭	湯本 香樹美	21 君たちはどう生きるか	吉野 源三郎	35 潮騒	三島 由紀夫
8 人間失格	太宰 治	22 ハムレット、ロミオとジュリエット	シェイクスピア	36 容疑者Xの献身、放課後	東野 圭吾
9 カラフル、リズム、DIVE!!	森 絵都	23 山月記、李陵	中島 敦	37 海辺のカフカ	村上 春樹
10 坊っちゃん、三四郎、こころ、我が輩は猫である	夏目 漱石	24 宝島	スティーヴンソン	38 にんげんだもの	相田 みつを
11 サラダ記念日	俵 万智	25 カモメに飛ぶことを教えた猫	ルイス セプルベダ	39 父の詫び状	向田 邦子
12 十字架、君の友だち	重松 清	26 アルジャーノンに花束を	ダニエル キイス	40 星の王子さま	サン テグジュペリ
13 杜子春、蜘蛛の糸	芥川 龍之介	27 風が吹くとき	レモン・ブリッグス		
14 モンテクリスト伯	アレクサンドル デュマ	28 夜のピクニック	恩田 陸		



編集

古江台中学校区幼保小中連携推進委員会